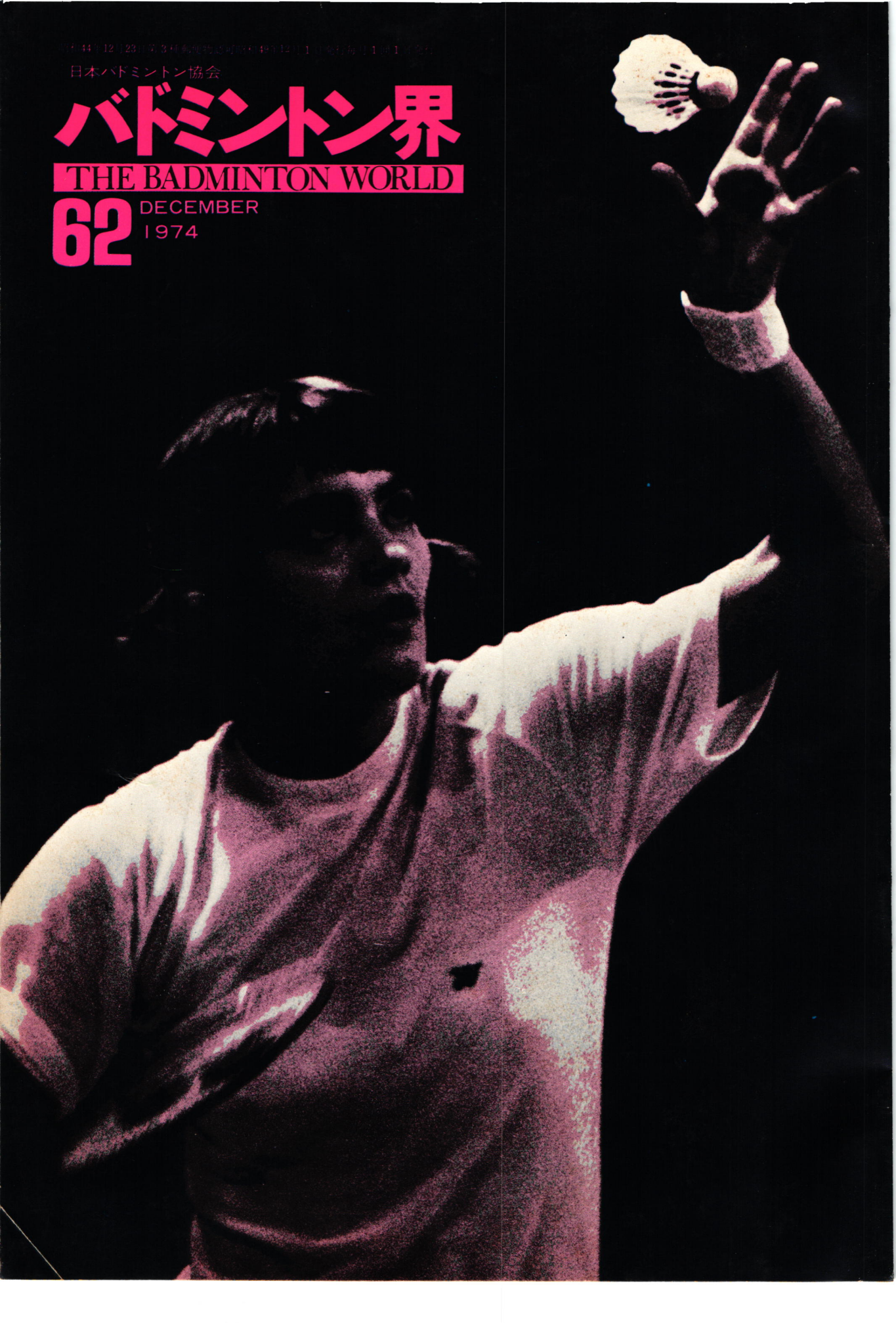
昭和44年12月23日 第3種郵便物認可 昭和49年12月1日 発行 毎月1回1日発行

日本バドミントン協会

バドミントン界

THE BADMINTON WORLD

62 DECEMBER 1974





国籍は世界。ヨネックス。

ヨネヤマが
社名変更しました。

世界の一流プレイヤーに使われ、世界のコートで熱い視線を浴びてきたヨネヤマが、名前を変えました。いま、こころも新たにヨネックス。世界のレベルを決めるブランドに、ふさわしい名前です。グローバルな響きです。バドミントンを科学の目でとらえるヨネヤマの、力強い変身。ヨネックス。この5文字が、ことばの違いを越え、国籍を越えて、ひとびとの心をひとつに結びます。すでにもう、世界のひとたちはかってのヨネヤマをヨネックスと、そう呼びはじめました。さあ、あなたも。

No.9000

ハイステンレス

￥4,800(フレーム・ケース付)

￥5,400(ヨネックスシープ張上・ケース付)

YONEX

THE BADMINTON WORLD・DECEMBER 1974

バドミントン界 12月号・NO.62

表紙撮影・本文中写真・山田真市　同制作・小浜正道

■体当たり実戦教室（小島一平）第11回
試合に対する心がまえはこれだ　2
■ビギナーへの手紙（羽戸民敦）第7回
新入部員大いに語る　4
■特別読物＝バドミントン讃歌
〝野生のエルザ〟へ　8
■全日本学生選手権
男子は中央大学、女子は日体大　14
■特集＝GO！GO！ユーバー杯V4作戦
V4へ突っ走る日本チーム　16
底抜けに明かるいムード　18
楽しい買い出し　20
さあ練習開始　21
決勝の相手はイギリスかインドネシアか　22
熱心な指導＝小飼監督　23
やさしいアドバイス＝福井コーチ　24
するどい指摘＝中山コーチ　25
GO！GO！迎撃態勢万全へチームの和　26
あたたかいバックアップ＝山本マネジャー　26
お互いに意見を交換し、向上を　27
中山コーチ、カムバックするか　28
はばたけ若人　30
■関東学生秋季リーグ戦
法政と日体が優勝　33
■私の歩んできた道（中山紀子）第7回
痛みを隠して二回目のユ杯防衛　37
■第三回全道ママさん大会
知事夫人と市長夫人のご協力で大成功　38
各地のたより　39
事務局通信・編集室から　40

実戦教室 〈第11回〉

がまえはこれだ

小島一平

最大の敵は自分だ

選手にとって、最大の敵は、自分であって、相手ではない。自分の思いどおりなプレーが出来なくなると、真面目にプレーすることを忘れて、きままなプレーをしても、なんとかなるだろうと、簡単な気持や、仕方ないというような諦めに打ち勝つことに徹しなければならない。

自分の最高のプレーをせねば、相手の最高のプレーには勝てない。どちらがより自己に打ち勝ったかということが、勝負の別れ目である。

自分が苦しい時には相手も苦しいと思え。コートの中では、誰一人として助けてくれない。

苦しい、逃げたい、耐えられないといった気持から、立ち直ることこそ、勝負に勝つ方法である。相手に勝つ前に己れに勝つことである。

しかし、自分に打ち勝つということは、そんなになまやさしいことではない。自分より、どう考えても、技量の劣る者に、苦もなく負けることがある。

自分でいくら悔やんでも、口惜しがってもどうにもならないのが現実である。

これは、試合中に相手を意識することにより、相手のペースに巻き込まれ、絶えず、心理的に不安な状態にあるからである。

だから冷静に自己のプレーが出来なくなってしまったのである。

技術は筋肉に覚えこませろ

技量の未熟さからくるものについては、練習の積み重ねにより徹底的に筋肉に覚えこませるしか上達の方法はない。

全力を尽して負けるのもやむをえない

相手のある試合において、必ず勝つという絶対的な方法などありはしない。まず自分の力量を最大に出し尽くすしか方法はない。そのうえで負けても、それは自分が弱いのでない。相手が強すぎるのである。

自分のもっている全力を出し尽くして負けたならば、それは決して恥ずべきことではない。

負けるということは、試合にのぞむものにとって、必ず一方が受けねばならぬ宿命なのだから……。

悪いショットをなくせ

単に良いショットとするだけでは強敵には勝てない。悪いショットをしないことが勝利への近道である。

大試合において、マッチポイントを握っていながらほんの少しのたった一回のミス・ショットによって優勝を逸するということは種々の競技であり得ることであり、悔んでも悔みきれないものである。

大試合には、単に良いショットといわれるものは、あちこちに見られるし、だれでも出来るものである。ファイン・プレーも各所で見られる。

しかし、その中で、チャンピオンになれるプレーヤーは、最も普通のショットを、正確に、重ねて打ち続けた者の中から出るものである。

起死回生のファイン・プレーなど必要がなければ、やらずにすむものであり、苦しい立場に立たされた時に起こるものである。

苦しい立場に立たされるということは、その前のショットが良くないものであったことを意味するものである。

悪いショットをしないことが、つまり危険に陥らぬようなプレーをすることが、強いプレーヤーになる大きな条件の一つでもある。

結果よりも原因を考えろ

一つのショット、一つのゲーム、一つの大会の中で、常に一番はっきり自分にわかるのは、基本の結果である。

一つのネットプレー、スマッシュをミスしたりして、その試合に負けることがあると、その人は、自分は運が悪かったのだ、相手がラッキーだったと考えがちである。

真面目に考えて良いプレーをしようと思うならば、その結果だけを考えずに、もし何かのミスであり、その結果負けたとしたならば、その原因を徹底的に検討すべきである。

このようにすることにより、再度のミスを防ぎ、第二の負けを味わわずにすむことが出来る。

バドミントンにおける、試合の負けは、その中の頭脳的な、試合進行上のミスが、大半を占めるものであり、思考上のミスである場合が多い。

世界的な名プレイヤーといえども最初から連戦連勝であったとはいえない。その裏には口で

●連載

体当たり

試合に対する心

●*Ippei Kojima*

試合に対する心がまえ 7ヶ条

① 最大の敵は自分である
② 技術は筋肉（からだ）に覚えこませろ
③ 全力を尽くせば負けても恥ではない
④ 悪いショットをしないことが勝利への道である
⑤ 試合の勝敗は結果よりも原因を考えろ
⑥ 練習で泣いて試合で笑え
⑦ しっかりした目標をいつも持て

はいえないほどの苦しい負け体験と多くのくやしい試合を経てきているのである。

練習で泣いて 試合で笑え

よく試合に負けて、もう少し練習をやり、走っておけばよかったと思うことがあると思うが、そのことに関しては反省することはよい。しかし、それを何度も何度も繰り返す人は、本当に試合に負けてくやしいという気持をもっていないのである。

本当に負けてくやしいと思うならば、負けたその日から、次の試合に対して集中力をもって練習に励まねばならない。

反省することは、だれでも出来る。しかし、実際に行動に移すことは、思ったよりずっと困難なことである。

私は学生時代、同級生あるいは下級生に負けると、即、坊主頭にさせられました。

坊主頭になると、それこそ、鏡を見るたびにチクショウ、チクショウと思ったことをおぼえています。

負け続ける限り、自分の練習量が足りないのと、思考上のミスがあるのですから、頑張らねばなりません、これはプレーヤーにとっての宿命といわざるを得ません。

しっかりした 目標を持て

だれしもが優勝を目標にすることは当然であるが、チャンピオンはただ一人に輝く。

しかし、だれしも、いつかは優勝してみたいと思うのは間違いないことである。

そして、その優勝したいという気持をどれだけ強く持つかによって、その人がプレーヤーとして大きく前進するか、後退するかの別れ目となる。

ということは、いつかは絶対優勝するのだと思い、練習に打ち込むのと、そうでないのとでは、おのずと差が出てくるのである。



連載●〈最終回〉

ビギナーへの手紙

新入部員大いに語る

■羽戸民敦

この座談会は、神奈川県立A高校の五人、横浜市立B中学校三人の新入部員と、助言・指導という立場から昭和三十六年度全日本総合選手権混合ダブルスで優勝され、現在も第一線で御活躍の、杉田博、良子御夫妻の出席を得て、昭和四十九年六月十七日行なわれたものです。

――皆さんこんにちは。練習の終ったあと、だいぶおなかも空いていることと思いますが、今日は新入部員の方たちに集まって頂いて、入部の動機や今やっていること、又これからしたいこと等大いに語ってもらおうと思います。そして杉田先生や奥様からいろいろ助言して頂き、これからの練習に役立てていきたい、そう考えて座談会を開きました。では最初に、バドミントンを始めた動機から。

始めた動機

A君　僕は中一の時、最初野球部に入ろうと思ってね、クラブの申込みの紙に野球部と書いたんだけど、友だちが、僕はバドミントンに入るからお前も入れよ入れよって言うから入っちゃったの。そしたらどんどん試合に勝ってきて、高校に入ってもやっぱりこのまま続けていきたいなーと思って。

B君　僕たちの友だちは小学校の時からバドミントンクラブに入っていて面白いなあーなんて言ってたし、中学に入っても友達が入るって言うから、まあ一緒に入って、今ももっとうまくなりたいなあーと思ってやってます。

E子さん　中学の時みんなとスポーツやりたいなあーと思って、一応バドミントンがいいとそれを選んで始めたのがきっかけで、中学校ではあんまり厳しくなくって、遊び半分というところもあったけど、高校で入った理由は、何か運動部へ入ろうと思って、やっぱりバドミントンがいいなあとその時なぜか思ったから。

G子さん　中学に入ったら部に入ろうと思っていたので、テニスかバドミントンにしたかったのです。で、どうしようかなーと思ったら、友だちがバドミントンがいいわよ、なんて一緒に入ったのですけれども、友だちがやめていっちゃってもね、何かすごく楽しかったから続けて来たのです。

――友だちに誘われたっていうの多いようだけど、その友だちはどういう理由で？

A君　さあ、それはちょっと解らない（笑）。自分で変ったのやりたかったんじゃないかと思うんですが。

杉田さん　クラブに入るまでバドミントンって知ってた？

C君　ラケットやシャトル見たことはあるけれど、サーブ下からやるなんて思わなかった。

杉田さん　ただこうやって打つなんて、つまんなそうなーなんて思わなかった？

C君　ちょっとそんな感じがしないでもなかった。

トレーニングの内容は？

――高校の練習は厳しいでしょ。今やっていること簡単に紹介してくれる？

E子さん　週二日外でトレーニング、他の日は体育館で、朝練は週四回、三年生たちと一緒にやります。外の練習ではまずマラソン、女子は四キロ、男子は八キロを二十五分位で。

C君　それから校門前の坂道で、そう二百メートル位あるかな、そこで上りを三回ダッシュ。他にサーキット、うさぎ跳び、腕立て、腹筋、なわ飛びなんか。素振りも。

F子さん　女子も大体同じですけれど、ダッシュなんか。うさぎ跳びは下から半分位。

――中学生はどう？

D君　最初校庭を大回りで八周から十周、約三千二百メートル位かしら。それを十分から十二分位。それから時には個人で六キロ位を二十四分で。それから腹筋や背筋、縄飛びや柔軟。二メートル位の坂を二重飛びで往復四回位やっています。

練習中の気持

――そんな練習やっていて、辛いなあーとか、苦しいなあーと思うと思うよね。どんな気持でやってるの？

E子さん　何か、早くやめてくれないかなーと（一同笑）。

――先輩か三年生が見ているわけ？

E子さん　一緒にやるでしょ。先輩先行っちゃうでしょ。私なんか後からいくでしょ。まだおそいから。そしたら上でちょっとこうやって見るの（笑）。それからちょっとダッシュするけど。

C君　やっぱり時間が早く経てばいいと思う。

H子さん　私たちもね。時間制限で走っているからね。早く終んないかなあーなんて思ってた。先輩なんかと走っている時は、早く先輩やめないかなーと。

ラケットを握りたい。

――これからどんなことしたいですか。

D君　ラケットを握って早くハイクリアーを打ちたい。

G子さん　まだシャトルを一ぺんも打っていないから、早く先輩たちを目標にしてがんばっていきたい。

F子さん　まだマラソンやっても先輩に追いつけないし、他の練習中でも、先輩の方がはるかにうまいし、だからやっぱり先輩に食い下っていきたい。

――今の中学生の話聞いていてどう思う？

F子さん　やっぱりバドミントンというのはね、入る前はラケットで打つものだと思っていたからね。やっぱり最初入った頃はぜんぜん握らしてもらえなかったから、すごい握りたい気持がね、ある。そういう気持があればあるほど、その握った時に自分で思いきったことができるんじゃないか。

A君　僕は中一の時から持たしてもらったからわからない。

――ラケットを握ることについてどんなふうにお考えですか。

杉田先生　僕の考えでは、ラケットは握らせていいと思うんですよ。ラケットの感触というものをある程度知らせておいて、もちろんそれでシャトルを打つんじゃなくて、自分で、グリップはこういうもので、それから振ってみた感じはこういうもので、というものはトレーニングと併用してやっていいだろうと思いますね。

いわゆる素振りとか壁打ちみたいなこともね。結局、ラケットの感じというものをつかませないことには、コートに入ってからラケットワークというのはなかなか一年や二年で会得できないものだと思います。

同じ過ちを二度と

――もう全国高校総体や国体の予選があったでしょ。そんなのを見ていて気がついたことや感じたこと等……。

C君　やっぱりね、中学時代のレベルと全然違うんじゃないかと。そうねー、高校の方がよく走って拾っているという感じ。

E子さん　試合の進め方を見ても能率的で、あっちこっち動かすでしょ。そういう攻め方素晴らしいなーと。

――そういうのはどうやったら身につくと思いますか。途中の所――いつもの練習の時気をつけなければいけないことは？

F子さん　やっぱりコートに入ったらね。いろいろ先生とか、先輩に注意されたことを、二度とね、注意を受けないようにやって、私はできないけれど、なるべくね、気をつけながらやったり、コートに入っていない時でもね、あーあそこはあーした



方がよかったと思ったら、コートに入った時実行したり積極的にやっていけばいいんじゃないかと思います。

B君　みんなでミーティング開いて目標を話し合ったけど、基礎的な打ち方一つ一つマスターしていきたいなーと。

――目標つくるの大変良いことだと思うんだけれど。

B君　合宿までを区切りにして個人個人でやってます。僕はね、先輩に言われたこと、例えば、ネットをとる時は上でとるとか、ラケットの下がっているのを直す。

A君　バックを強くする。

B君　前をとる時、ひざをもっと曲げるとか。

高一から中一へ

――時間も大分経って来たけど中一の新入部員に先輩としていろいろ注文やら希望があるでしょ、そんなこと……。

E子さん　これからラケット持ってコートに入るでしょ。私も高校に来て、コートに入って、バドミントンとはすごーいきびしいものだと思ったから、みんなもラケット持ってコートに入ったらそう思うと思うのね。だから、何というのかなー、自分で思っていたバドミントンというものを捨て、そんな感じで、これからは新しい気持でやっていってほしいと思う。

A君　一年のうちから基礎をつけておかないと三年になってから成果がでないから、もう一生懸命やってがんばってもらいたいと思います。

新入部員にかける期待

――最後になりましたけれども、杉田先生御夫妻から、全国の中・高校の新入部員の皆さんに寄せる期待とか注文といったものを伺いたいのですけれども。

まず走れ！

杉田さん　最近ややもすると、中学生でごまかしのプレイみたいを憶えちゃって、基礎から叩き込んでいるというか、身体をつくってやろうというのはなかなか少ないと思います。

そういう意味でみんながラケットも持たないで一生懸命走っているのを聞いてほんとに感心しているの。だから、走って、がまんすることを先に自分のものにするの。そしたら今度ラケット持った時に、何か待ちに待ったものをやるという意味でね、自然に身体が動いて楽しいバドミントンができる。

だからあなたたちが基礎体力をつけて、走っていることは決して無駄なことじゃない。そうしないとこれから先伸びません。身体がついてないバドミントンなんて絶対だめ、だからそういう意味で非常に良いことしていると思うの。だから今度ラケット握らしてもらったら、今度は





打つことに専念していく。そういう意味で非常にいいと思います。

何事も工夫して

杉田先生　一年生といっても、中学校の一年生と高校の一年では、まるで対象が違うんだろうと思います。ですからいずれにしても僕は、基本というものをね、一年の間にやっておいてほしいと思います。ですから中学生だったらまず基礎体力をつける場合の苦しいトレーニング、そう、今日縄飛びやっていたね。ああいうのをやっても、同じことの繰り返しでなくって、縄飛びの中でも工夫して、スピードを変えてみたり、或いは二重飛びをやってみたり、それから縄飛びしながら足を少し動かしてみたり、そしてその基礎体力を作りながら敏しょう性を養ってほしいと思います。

何も、走ったり縄飛びだけが体力をつけることじゃないと思うんです。だから僕は、昼休みのソフトボール、バスケットボール、また夏の水泳は身体の全身運動だからどんどん泳いでいいと思う。

オレはバドミントン部だから泳がないんだ、あるいは他のことはやらないんだということじゃなくって、何でもいいから身体を動かして、それから敏しょう性が生れてくると思います。

基本を　時間をかけて自分のものに

杉田先生　次に、基本的なものを大事にしてほしいと思います。一年間の間に基礎ができていれば、二年生になって新しい技術を覚えるにしても、すぐに入っていけると思うんです。

それから、新しいことを覚えるのに決してあわてないで、一つのことをじっくり、二ヶ月でも三ヶ月でもかかっていってほしいと思うんです。ですから、自分の一つのことをマスターしようとするのに、まあ一週間や二週間ではおそらくできないと思います。あわてないで、自分がぐずだと思ったら一年かかってもいい、その一つのことができるように基本的なものを忠実にやっていってほしいなと思いますね。

非常にむずかしいメンタル（心理的）なスポーツですから、長い目で自分のプレイを考えて、中学三年間でチャンピオンになろうなんて思わなくていい、中学の時に、でなかったら高校に行って、高校でもダメだったら大学に行ってでも、というように考えながら、自分で着実に伸ばしていくつもりでいてほしいですね。

――どうも練習のあと、疲れの残っている貴重な時間、皆さんほんとうにありがとうございました。これからも一歩一歩努力して、素晴らしいバドミントンプレイヤーに成長されることを願っております。ではこのへんで。

予　告　!!

読者の皆様に親しまれ
戦力増強をもたらした
「ビギナーへの手紙」も
今回をもって
好評のうちに
完結しました

次回からは　いよいよ
新シリーズ
「バドミントンの全て」
の登場です
初心者必見
ベテラン精読
ご期待下さい

特別読物

バドミントン讃歌

"野性のエルザ"へ

徳田敦子選手を追って

「どっちが勝つか、賭けますか」

「賭けましょう」

「僕は徳田です」

「ウーン、困ったな、私も…」

「じゃ、賭けになりませんね」

「そうですね」

某月某日

友人のデザイナーのMさんとの会話。Mさん関東学院の出身で、現在トヨタ自工に勤務している小宮さんの後輩にあたる。高校時代まで、バドミントンの選手をしていた。秀れたプレイヤーかどうかは、一目でわかる。その試合、徳田敦子さんは負けました。私達二人にとって、勝敗は関係なかった。

私達は、コート一杯に、ダイナミックに動きまくった一人のプレイヤーに、さわやかな、そう、そよ風に頬をなでられるような、すがすがしさを覚えたのだ。

その日、私達は夜遅くまで、小宮さん、秋山さん、小島さん、高木（現在中山夫人）さんと、日本のバドミントンを世界への道を開いた秀れたプレイヤーの人々の話をしていた。

「考えてみれば、不思議なことです。バドミントン、バドミントンと選手を追っかけまわす時代が訪れようとは……」

「スマッシュ、アンド、お色気ですか？」

「悲しいですね」

「だから、徳田……」

そういって、二人は笑った。

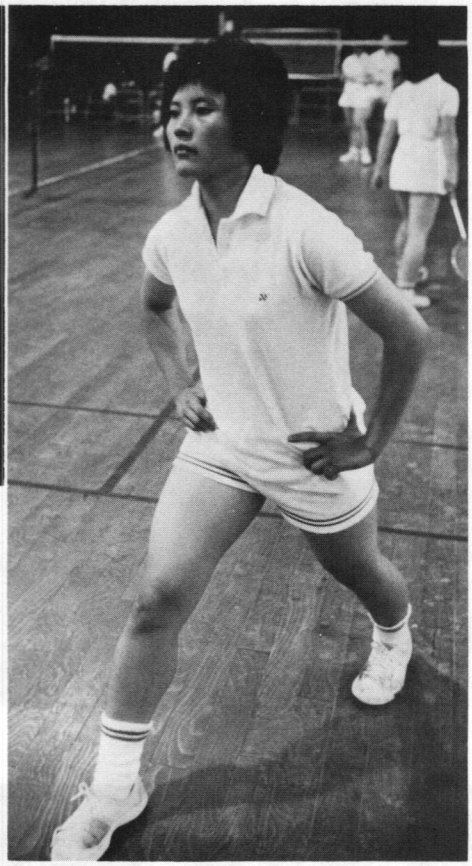
僕もMさんも、マスコミの底辺で仕事をしている。Mさんは、かってプレイヤーであっただけに、自分がある一時期、青春を賭けたスポーツが、自分達が、携わっている仕事によって、汚されていくことが辛かったに相違ない。マスメディアの発達、情報過多が、アマチュアスポーツの世界に、何をもたらしたというのだろう。それによって、バドミントンが普及するという大義名文はあるかもしれない。

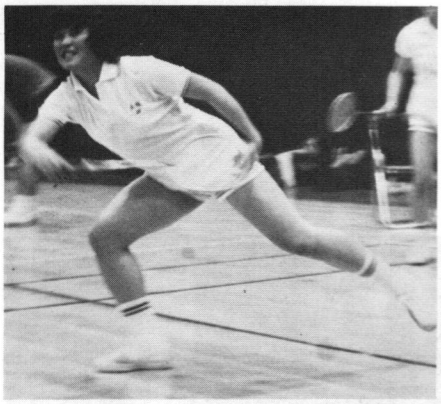
だが、僕もMさんも、自分達の仕事に多少のうしろめたさがあったのだ。常に、時流を追いかけ、不要なものは、切り捨てていく——酷追非情といってしまえば、それまでかもしれないが、それが現実だからだ。現在、Mさんは、一人のファンとして、バドミントンの試合を観戦に行く。

過ぎさった日々をなつかしむように……。

「だけど、徳田ってのは、不思議な選手ですね。一生懸命やっているんだろうけれど、それを感じさせないんだナア。新らしいタイプの選手ですよ。昔の







選手のように、必死に頑張ってるっていうのかな、そういうの、あまり感じさせないんだなあ。現代的というんだろうなあ」

徳田敦子さん。去年のインターハイ、シングルス、ダブルスで一位。大阪四条畷学園短大に徳田あり——ということになる。

「背筋力があるから、育て方によっては……」

「まだまだですよ、あれは……。安定性がないでしょう」

「いいプレイヤーじゃないんですか。それにスター的要素もあるし……」

徳田選手、どうですかと質問すると、人によって答え方もさまざま……。でも、スター的というのが、徳田選手をズバリ表現しているかもしれません。Mさんがいう現代的というのにつながる。多勢の人の中にまぎれこませたとしても、何となく目についてしまう。選ばれたものの幸福というべきか、不幸というべきか……？。でも、何事によらず、今の時代にあって目立つということは、良いことにちがいない。

「生年月日は？」

「どうして○○をやることになったんですか？」

「一日の生活時間は？」

「趣味は？」

インタビュアーの質問というものは、おおむね、きまっているんです。質問にスラスラっと答える人もいれば、考えながら答える人もいる——簡単にいえば、身上調査。書く原稿の材料にもなれば、その人の人柄を判断するモノサシにもなる。

「趣味は？」

という質問が、一番クセモノ。おおむね、

「レコード鑑賞」「読書」

という答えがはねかえってくる。質問するほうも、またか、ということになるんです。

それを、徳田さん、

「カーペンターズ、それにサイモンとガーファンクルを聴くのが好き」

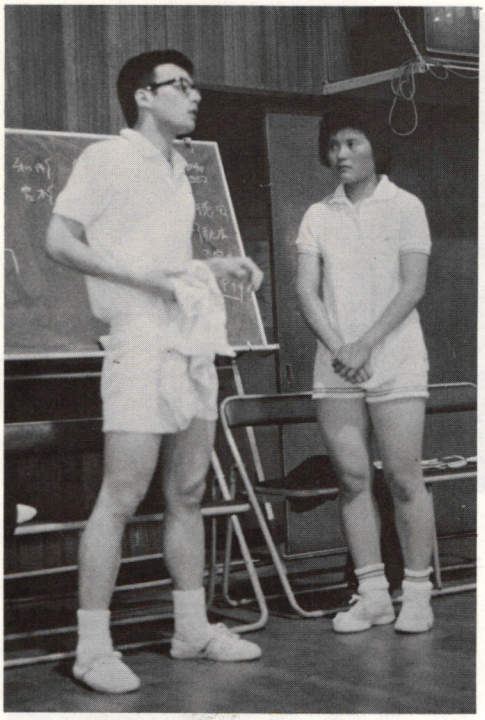
と即座に答えました。レコード、鑑賞、読書といったって、いろいろある。ズバリ、中味で答えてくる——和服を着て、オツにすましているような答え方をしない——思った事、感じた事を正直にいえるんです。御立派。

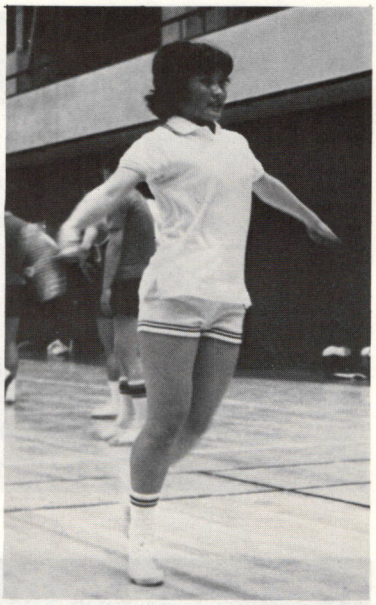
ニックネームはクロ。

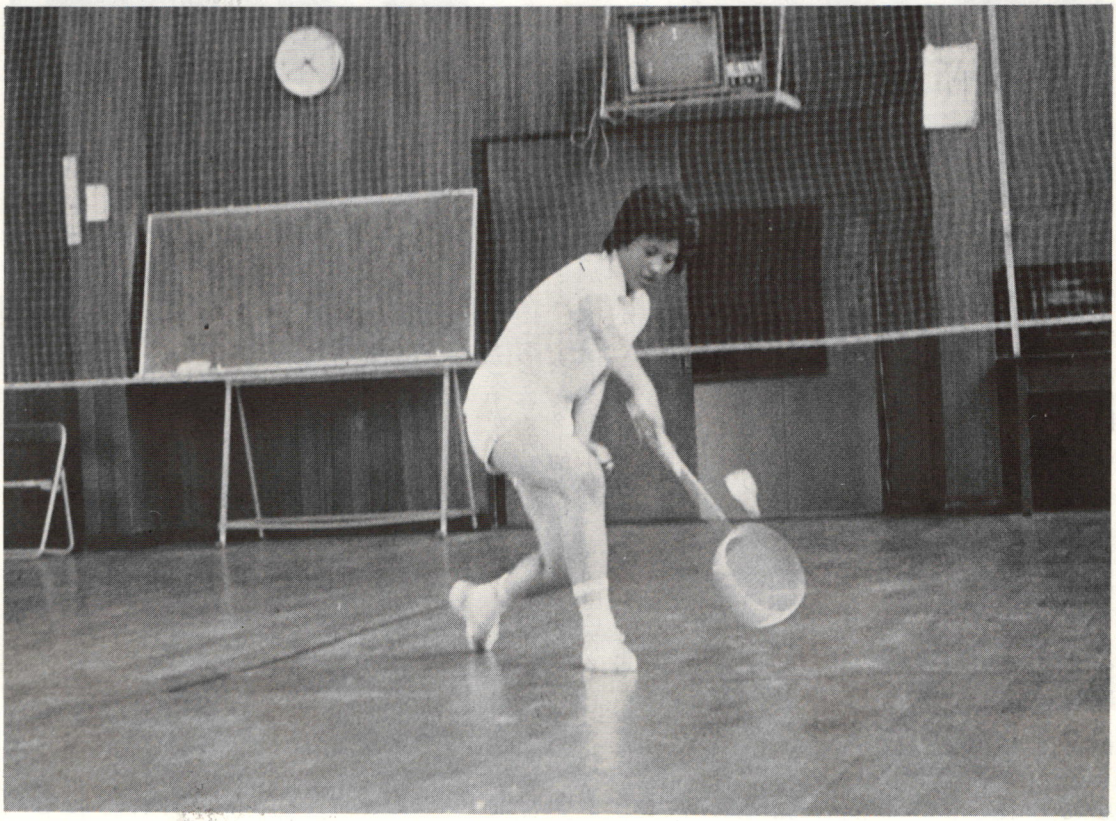
小学校で剣道。

中学校からバドミントン。

家では、甘えん坊のオバアチャン子だそうな。自転車通学。家までの距離は七分。練習を終えて、家に帰ると、まず入浴。遅い食事をして、テレビを観たり、あちこちの試合で親しくな











った人に手紙を書いたり——。誰とでもすぐ友達になれそうな人なつっこさがあるんです。一日の練習の反省をしてとは、いわなかった。

「将来は？」と質問したら、

「サア、わかりません」

と、恥かしそうに言葉を途切らせました。

「先生（片岡輝明先生）は、恐いですよ」

最後に、一言つけくわえて、ニコっと笑った。

某月某日

四条畷学園の体育館、午後六時。

「俺が面倒みてるのは、徳田だけやないんや」

暗いコートの片隅で、幾多の名プレイヤーを育てた片岡先生は、つぶやいた。

片岡先生、自分の反対側のコートに、高校生を六人いれて、次から次へシャトルを打ち込んでいく。先生の傍らにうずたかくつまれたシャトルが、あっという間に消えていく。

徳田さんはといえば、近畿大学の男子学生を相手に練習試合。玉のような汗が、身体からにじんでくる。

ミスをすると、

「スミマセン」

と言って、また、シャトルを打ち込む。

ワンゲーム終了すると、コートにラケットをたてて、しばらく、黙っています。荒い息づかいが、つたわってくる。その時の、放心したような表情、心の中で、何を考えているのか……？。

「あと、もうワンゲーム」

先生の声がとぶ。

「ハイ」

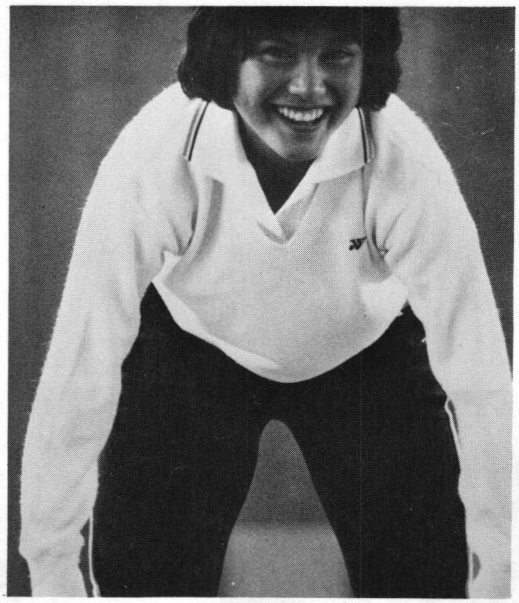
気をとりなおしたように、また、ラケットをふる。

「お世話になります」で始まり、「どうもありがとうございました」で終る一日。中学、高校、短大の一貫したクラブ活動。その中で、トレーニングのプログラムがつくられ、練習の厳しさに耐えたクラブ員の何人かが、未来のホープとして育っていく。午後四時から、七時ないし八時までの練習。僕だったら、逃げ出してしまいます。これは、本音です。徳田さんだって逃げ出した時があったらしい。絵を描いたり、ピアノを弾いたり、他にやりたいことが、いろいろあったでしょう。それが青春。その時、きっと。

「なぜ、何のために……？」

て、考えたことでしょう。でも、一つ選択をしたのは事実です。

「男に支えられない女は弱い」という言葉がある、「女子の選





手が伸びるか伸びないかは、コーチの力量によって決まる」といいかえてもいい。久々の大型新人、未完の大器、マスコミむけのキャッチフレーズは、どうにでもつけられるんです。

高木選手が世に出てから、湯木、竹中、相沢の三選手が出現するまでのブランク、そして、その後——その時の流れが、一瞬、僕の脳裏をよぎった。もちろん、その間に、多くの秀れたプレイヤーが、登場しては消えていったに違いない。残されたのは、ランキング一位だけの記録だとすれば……。トッププレイヤーの陰に消えていった幻の名選手のほうが、僕は好きだ。一個の秀れた才能が花開くためには、その裏側に、才能を発見する人、育てる人、世に送り出してやる人がいるんです。そして本人の努力。

徳田敦子さんが、トッププレイヤーになるか、ならないか、一人のファンとしては、どっちでもいいんです。試合の場にあって「勝つことでなく、参加することに意義がある」というクーベルタンの言葉は、嘘でしょう。ひたすら、勝利を追い求めることも嘘でしょう。アマチュアスポーツの本質なんて、僕にはわかりません。大会がある——公立であれ、私立であれ、







学校の名誉があり、県の名誉があり、国の——そう、その重圧の中で戦っている選手の姿だけが美しいんです。そして、観客は、その試合の中に一つのロマンを発見しているのですから……。友人のMさんにしても、僕にしても。

わずか一二〇グラムのラケットと五グラムのシャトルに、青春の一時期を選択したひとりの可愛いいおんなのこ。不器用で荒けずりのプレイをする野性のエルザ。

僕の大好きな言葉、北アイルランドのジャンヌダルクといわれたバーナード・デブリンの自叙伝の一節を、徳田敦子さん、あなたに捧げよう。

「持つに価するものを得るためには、その他のすべてを失うことも、やむを得ないかもしれない。」

徳田敦子さん。バドミントンを始めてから八年、俗にいう十年選手には、まだ、二年たりない。

全日本学生選手権

男子団体は中央大学、女子は日本体育大学に栄冠

シングルスは銭谷が二年連続、西尾は徳田の追撃をふり切る

ダブルスは飯野・土田組と徳田・秋本組

■初の地方開催、大成功のうちに終了

第25回全日本学生選手権大会は11月10日から16日まで、山梨県甲府の山梨大学体育館で行なわれた。

その結果、男子団体戦は中央大学が法政大学を圧倒的に下し二年連続七回目、女子は日本体育大学が日本女子体育大学を破って三年連続五回目の優勝をかざった。

一方個人戦のほうは、男子シングルス・銭谷（中央大学）、女子シングルス・西尾（日本体育大学）、男子ダブルス・飯野・土田組（日本大学）、女子ダブルス・秋本・徳田組（四条畷学園短大）がそれぞれ栄冠を獲得した。

また、本大会に先立って行なわれた第23回全日本学生東西対抗競技会は東軍が11－3で圧勝し、通算成績を22勝1敗とした。

◆東西対抗

東軍 11－3 西軍

▽男子シングルス
○松口 2－0 工士
○日下 2－0 江口
○山本 2－0 嶋田
○須藤 2－0 永沢
○栗原 2－1 米堀口 1－2 和田○

▽男子ダブルス
○松口・折井2－0宮本・中村
○日下・横田2－1江口・田中
○高橋・橋本2－1工士・坂本

▽女子シングルス
○陣内 2－1 野崎
佐伯 0－2 徳田○
○井上 2－0 秋本
○秋本・西尾2－0村崎・狭川
石田・吉田0－2秋本・徳田○

▽参考試合
○出石・高瀬2－0和田・宮下
○竹林・桜井2－0山下・川添

◆男子団体戦

▽準決勝
中央大 3－0 日体大
法政大 3－2 日 大

▽決勝
中央大 3－0 法政大
銭谷・山本 2－0 巽・下田
日下・横田 2－0 中井・辻
銭 谷 2－0 原

◆女子団体戦

▽準決勝
日体大 3－0 東女体大
日女体大3－0 青山学院大

▽決勝
日体大 3－1 日女体大
西尾・秋本 2－0 千葉・松田
佐伯・古谷 2－0 石田・吉田
陣 内 0－2 千 葉
西 尾 2－0 石 田

◆男子シングルス

▽準決勝
銭 谷（中大） 2－1 栗 原（日体大）
山 本（中 大） 2－0 中 山（福岡大）

▽決勝
銭 谷 2（15－7, 15－3）0 山 本

◆女子シングルス

▽準決勝
徳 田（四条畷） 2－0 古 谷（日体大）
西 尾（日体大） 2－0 陣 内（日体大）

▽決勝
西 尾 2（3－11, 11－7, 11－9）1 徳 田

◆男子シングルス

▽準決勝
飯野・土田（日 大） 2－0 須藤・栗原（日体大）
銭谷・山本（中 大） 2－1 中井・辻（法 大）

▽決勝
飯野 土田 2（15－5, 15－4）0 銭谷 山本

◆女子ダブルス

▽準決勝
秋本・西尾（日体大） 2－0 谷・井上（日体大）
秋本(幸)・徳田（四条畷） 2－0 石田・吉田（日女体大）

▽決勝
秋本 徳田 2（15－7, 15－5）0 秋本 西尾

〔銭谷は2連勝、飯野・土田組は2連勝、西尾は2年ぶり2度目の優勝、秋本(幸)・徳田組は初優勝〕

手応え確か。

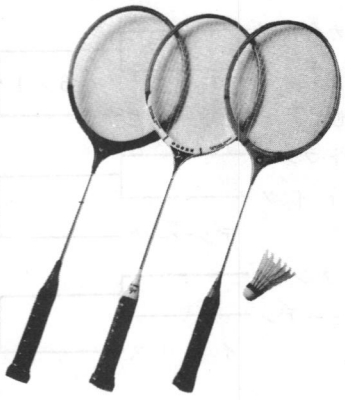
ゴーセンバドミントンラケット



白いシャトルコック目がけて力いっぱいふりおろす——インパクトの瞬間に感じる勝利の手応え！

ゴーセンのバドミントンラケットはまさにあなたの腕の延長。はじきの良さと軽やかさ——これがゴーセンバドミントンラケットの特長です。

その他、シャトルコック・ウエアも教多く用意しています。お求めは全国有名デパート・スポーツ店でどうぞ。



GOSEN
RACKET
FOR BADMINTON

株式会社ゴーセン

本　社 ■ 大阪市東区農後町 4　☎(06)942-5816(代)
東京支店 ■ 東京都台東区鳥越 1-26-1 ☎(03)862-6576(代)

特集●GO!/GO!ユーバー杯V4作戦

大記録達成へのポイントと猿ケ京合宿にひろう

日本はまずアジア地区×オーストラリア地区の勝者と対戦

日本女子バドミントン界は、来年五月末からインドネシアのジャカルタで開催される第七回ユーバー杯（世界女子バドミントン選手権）における、大会史上初の四連勝をめざして、追い込みにはいっている。

そこで、ユーバー杯V4への道をさぐってみたい。

◇　◇

まず、第七回ユーバー杯の組み合わせを見てみよう。

●アジア地区大会は、インドとマレーシアの間で行なわれる。

●オーストラリア地区大会は、オーストラリアとニュージーランドの間で行なわれる。

●アメリカ地区大会は、アメリカ合衆国とカナダの間で行なわれる。

●ヨーロッパ地区大会は、まずスコットランドと西ドイツの間で行なわれ、その勝者とデンマークが対戦し、オランダとスウェーデン戦の勝者とイギリスが対戦し、その勝者同士の間で地区代表が決定する。

●続いてアジア地区代表とオーストラリア地区代表が対戦する（五月三十一日）

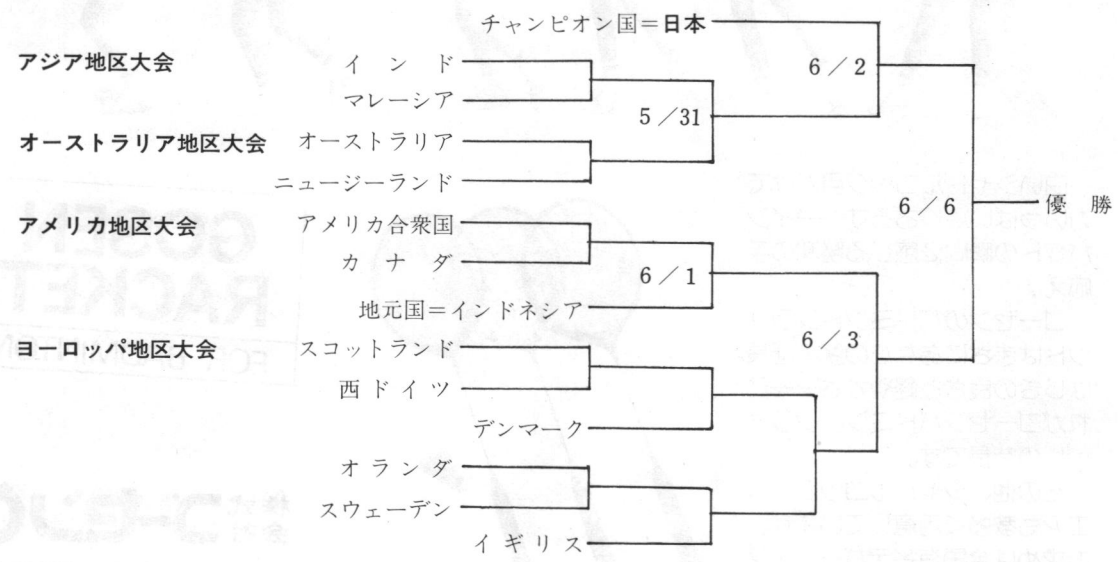
●アメリカ地区代表と地元国インドネシアが対戦する（六月一日）

●そして、いよいよチャンピオン国日本が、アジア地区×オーストラリア地区の勝者と六月二日に対戦する（準決勝）。

●続いてインドネシア×アメリカ地区代表の勝者とヨーロッパ地区代表とが準決勝で対戦する（六月三日）。

●そして、決勝は六月六日に行なわれる。

第7回ユーバー杯大会組合せ



V4へ突っ走る日本チーム

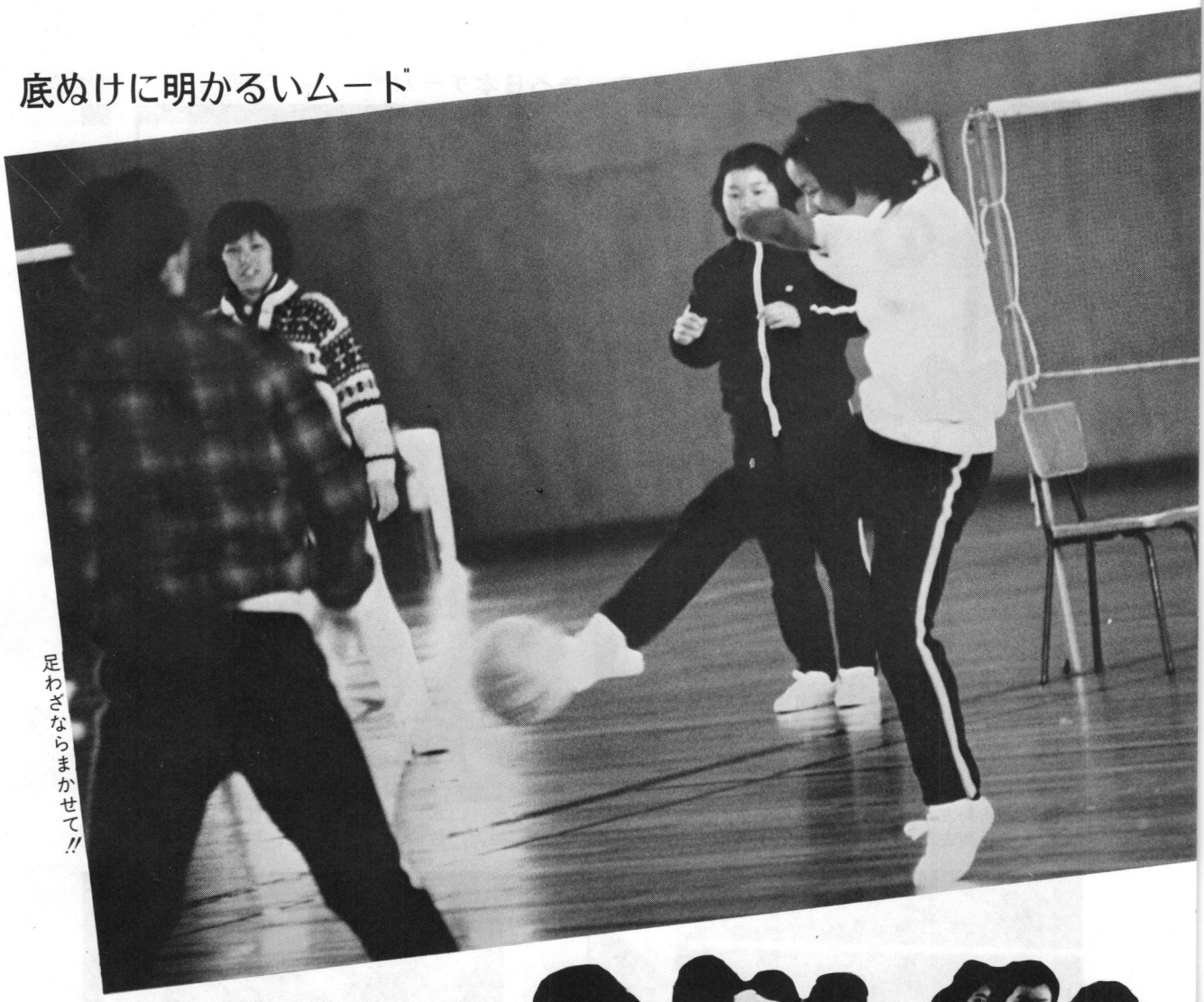


（前列左から）千葉，小飼監督，中山コーチ，福井コーチ，山本マネジャー，秋本妹
（後列左から）井上，徳田，石田，柴山，塩崎，池田，相沢，佐伯，竹中，石崎，秋本姉，陣内



朝日をあびて，いっせいにスタート

底ぬけに明かるいムード



足わざならまかせて!!



おしくらまんじゅう
押されて泣くな!!



もう少しッ!! 足は長いんだけど手のほうは??

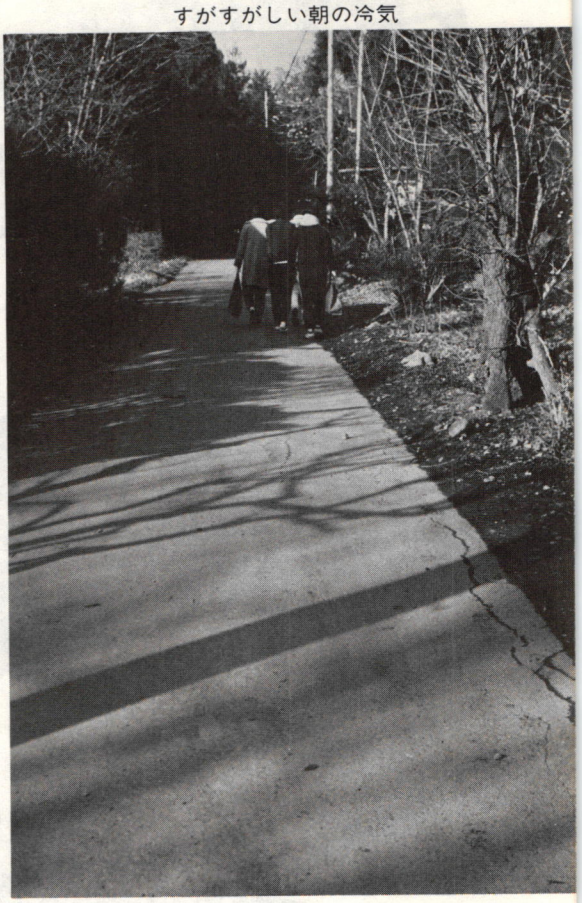


キャーッ（体育館がこわれるのでは……）

楽しい買い出し



すがすがしい朝の冷気





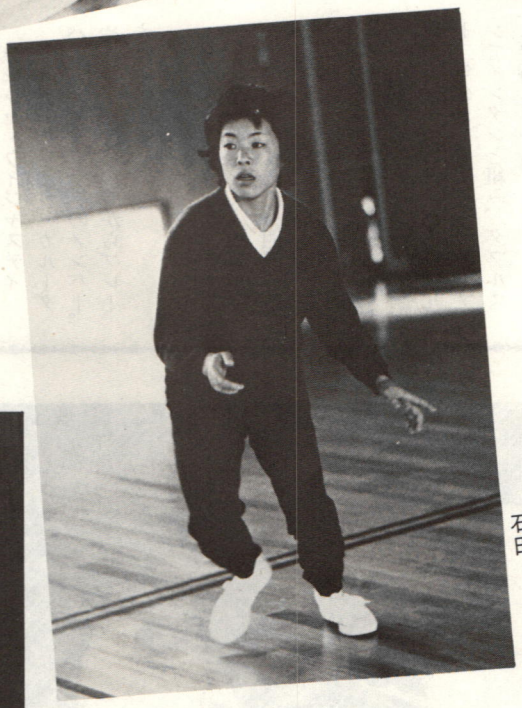
おじさん、少しおまけしてネ



徳田



塩崎



石田



井上

さぁ，練習開始

―シャドー・バドミントン―

決勝の相手はイギリスか インドネシアか

予想される各国のメンバーを何人か紹介してみよう。

●イギリス

M・A・ギルクス夫人

イギリスを代表するプレーヤー。長身から打ちおろす強力なスマッシュが武器。日本にも独身時代から数回来日したことがあり、全英選手権でも湯木を破るなど（七三年）勝負強いものをもっている。ベックと組んで七四年の全英選手権ダブルスでタイトルを獲得している。

マーガレット・ベック

一九五二年生まれ。スポーツウェアの会社に勤務している。ギルクス夫人に比べるとずっと小柄ながら、よく走り、オールラウンドなプレーを展開する。七三年の全英選手権シングルス、七四年の同ダブルスチャンピオン。

バーバラ・ギルス

一九五三年生まれ。現在秘書をしている。ノラ・ガードナー選手と組んで一九七一年にヨーロッパ・ジュニア・チャンピオンになっている。

P・E・ウェトナール夫人

一九四二年生まれのベテランプレーヤー。体育の先生をしている。ボクソールと組んでのダブルスは非常に見事なコンビネーションを誇っており、一九六九年と一九七〇年には、全英選手権で優勝しており、混合ダブルスでも優勝している。七四年の全英選手権では僚友のベック・ギルクス組に決勝で敗れている。

マーガレット・ボクソール

一九四五年生まれ。体育の先生。サウスポーの華麗なプレーを展開する。ウェトナール夫人と組んで数々のタイトルを国内外で手にしている。

一時、ウェトナール夫人とともにプロに転向したが、今年は再びアマチュアに復帰している。

●インドネシア

ミナルニ・ソーダリヤント夫人

一九四四年生まれ。インドネシアの最年長プレーヤー。インドネシアの国民的ヒロイン。数年前アクシデントで第一線から退いていたが見事にカムバック。現在はダブルス専門にプレーをしている。

タティ・スミラ

一九五三年生まれ。一〇歳の時からバドミントンをはじめている。一九六七年～六八年のジュニアチャンピオン。それ以来国内では敗れていない。

テレシャ・ウィジャスティ

一九五五年生まれ。ガルーダバドミントンクラブのメンバー。やはり、一〇歳の時からプレーを始めた。

イメルダ・ウイグナ

一九五一年生まれ。外国語学校に学ぶかたわら、一四歳の時からプレーを始めている。

レジナ・マスリ

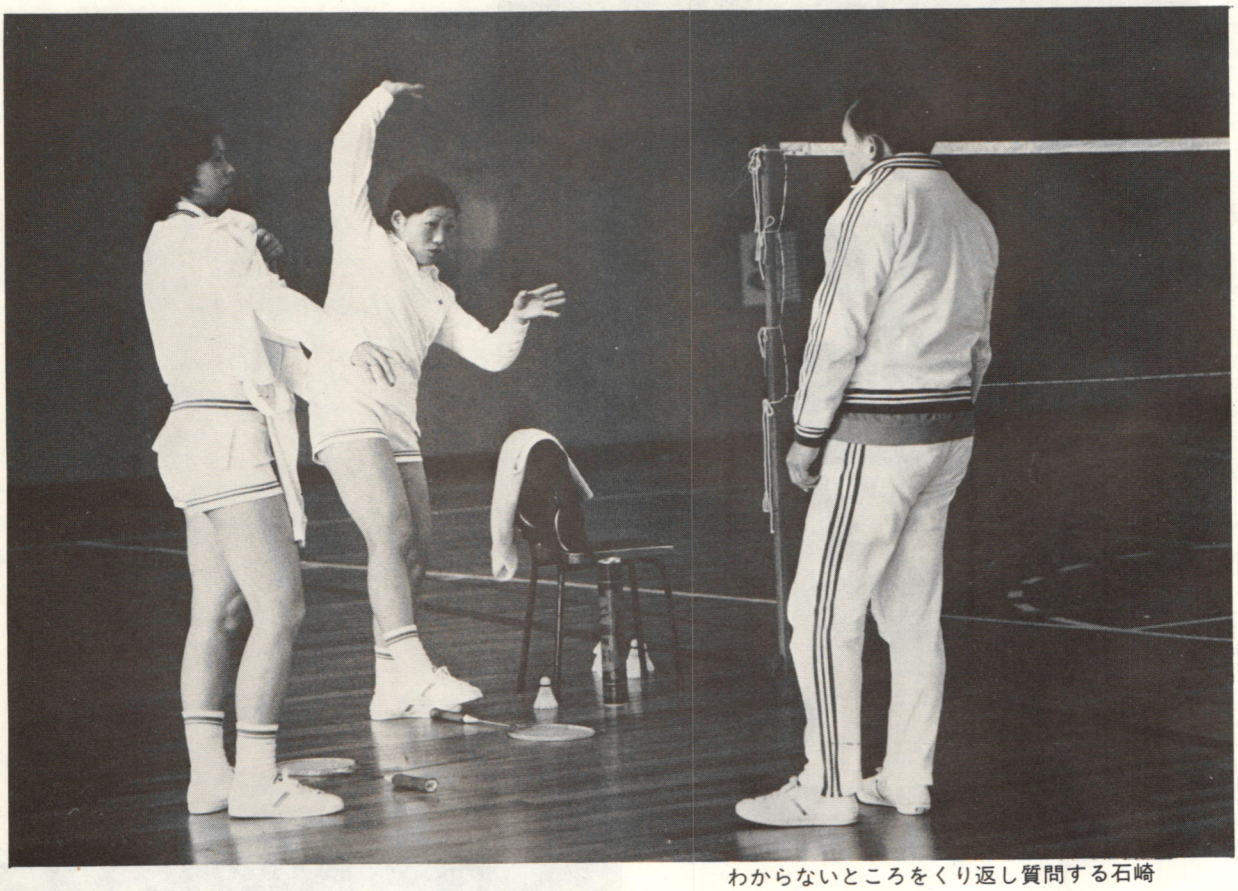
一九五二年生まれ。一九七二年のユ杯チームメンバー。一九七二年のシンガポール・オープンでインタンと組み、ダブルスに優勝している。

スリ・ウィヤンティ

一九五二年生まれ。バレーボールと陸上競技の選手でもある。一九七四年にウィジャスティと組んで、ダブルスにおける国内チャンピオンとなっている。



期待の新鋭――佐伯、井上

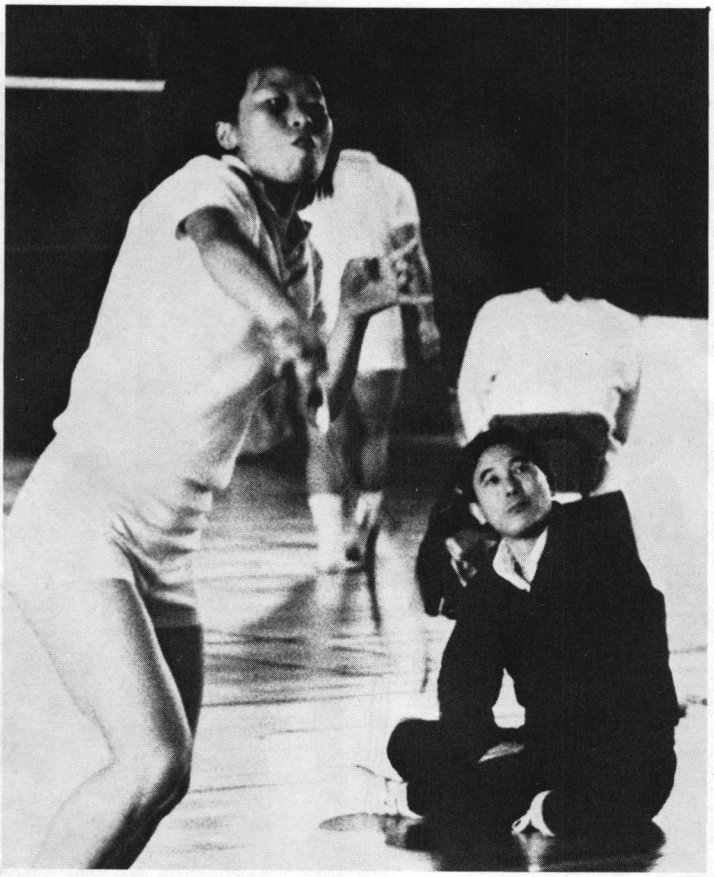


わからないところをくり返し質問する石崎

熱心な指導＝小飼監督



アドバイスを受ける佐伯と井上

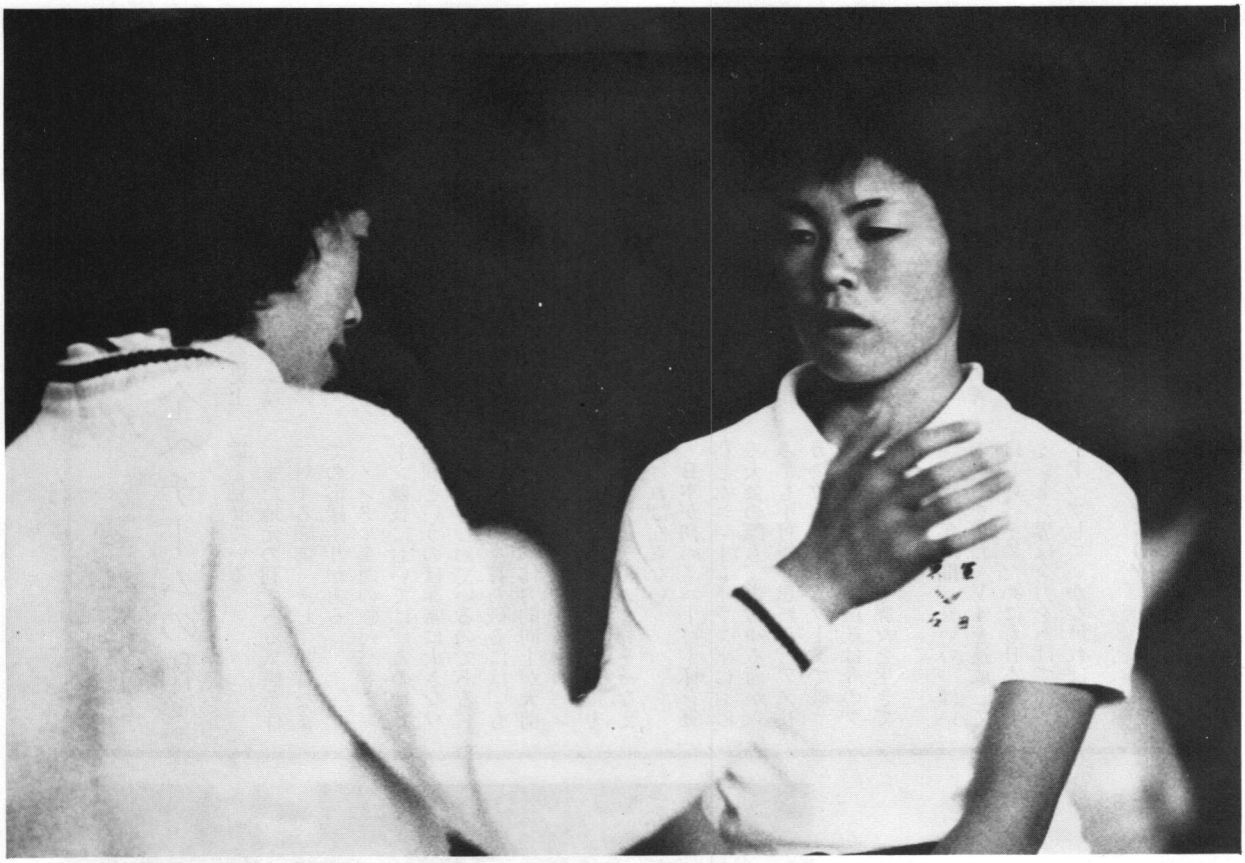


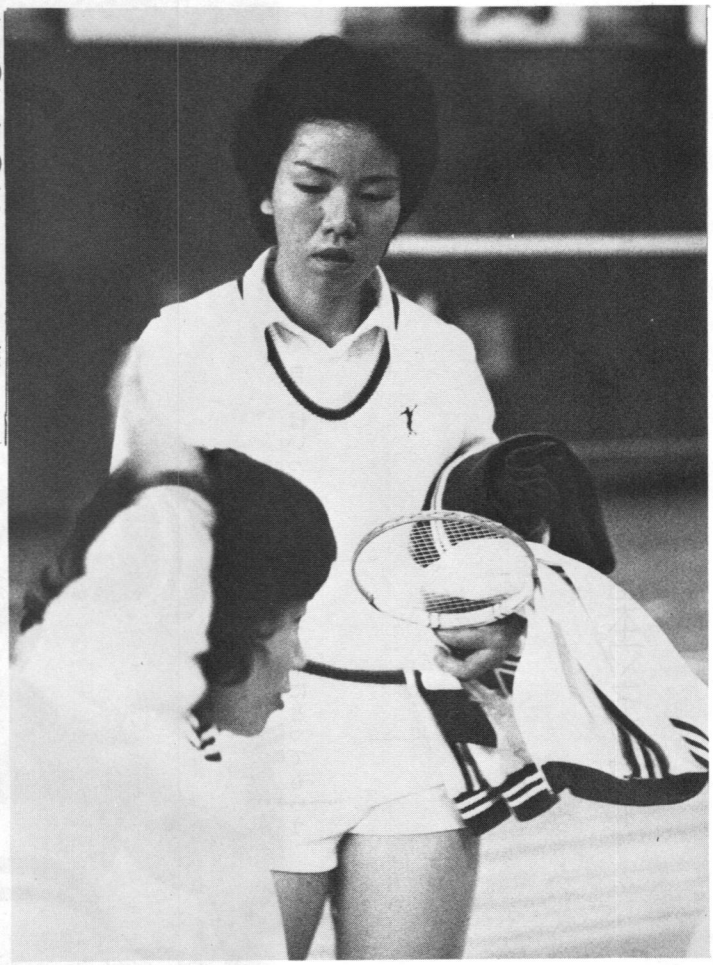
石崎のプレーを見る福井コーチ

やさしいアドバイス＝福井コーチ



石崎選手に鋭い視線を





石田(上)、池田(右)へのコーチにも熱がはいる

するどい指摘＝中山コーチ

GO!! GO!!
迎撃態勢万全へチームの和

一方、挑戦を退けて大会史上初のV4をねらう日本チームは去る十一月下旬、猿ヶ京温泉に一週間の合宿を行なった。

小飼栄一監督以下、福井、中山両コーチ、山本マネージャー、竹中、相沢、柴山、池田、塩崎、石崎、陣内、佐伯、石田、千葉、秋本姉妹、徳田、井上の総勢十八名が参加した。

主砲湯木はコンディションをくずし、不参加となったが、V.4をめざす日本チームは、闘志満々、非常に研究熱心な一週間を送った。

必ずしも楽観できない情勢となっているが、イギリスあるいはインドネシアという強豪チームに勝つためには並々ならぬ努力が必要である。

イギリスの強さは、何といってもチーム層の厚さにある。ギルクス、ベック、ボクソール、ウェトナール、さらに新人のギルスといった布陣は、おそらく現在の世界女子界では第一の実力を誇っているといえよう。

また、インドネシアは、国民的ヒロインのミナルニをカムバックさせ、王座獲得に猛烈な意欲を見せている。

また地元の利である気候条件に対する順応、そして異常なまでの応援ぶりがある。

メンタルな面の強いバドミントン競技においては、この地元の利というのは非常に大きなウェイトをしめているのである。

このカベを打ち破るには、もちろん技術、体力的向上が大前提であるが、さらに多少のハンディをはねかえすだけの精神力＝ガッツとチームの和をそなえなければならない。

日本が初めてユーバー杯を獲得したニュージーランドにおける大会の際も、あらゆる面からみても不可能と思われたアメリカのカベをチームワークで破ったのだから、この伝統は今のプレーヤーたちにも脈々と生きているはずである。

あと半年の間、せいいっぱいの努力を重ね、V4を達成してほしい。そのためにも日本バドミントン界は全力をあげてバックアップしていかなければならない。

GO!!GO!!

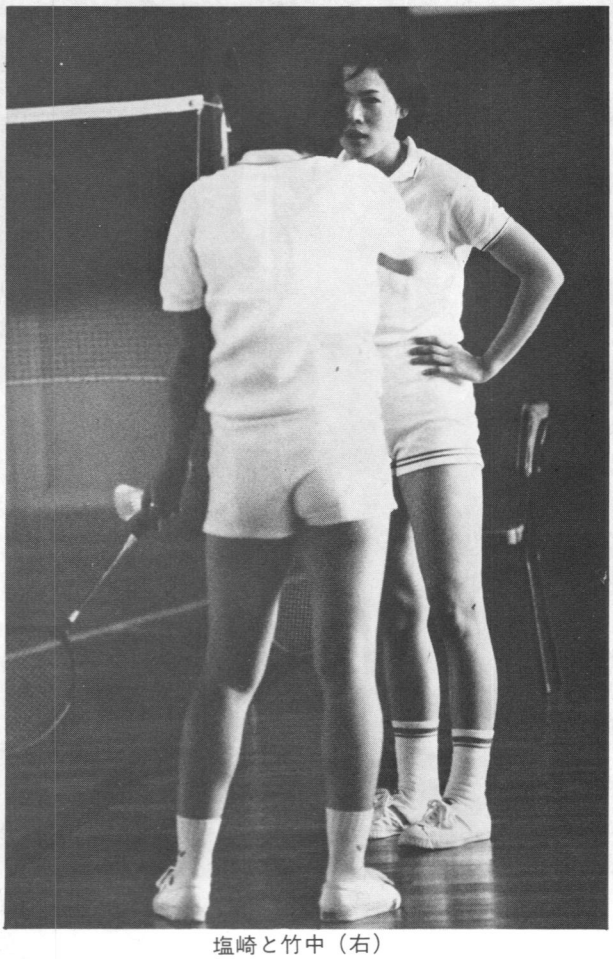


目にはいったゴミをマネジャーにとってもらう。

あたたかいバックアップ＝山本マネジャー



冷やでグーッと一杯・陣内



塩崎と竹中（右）

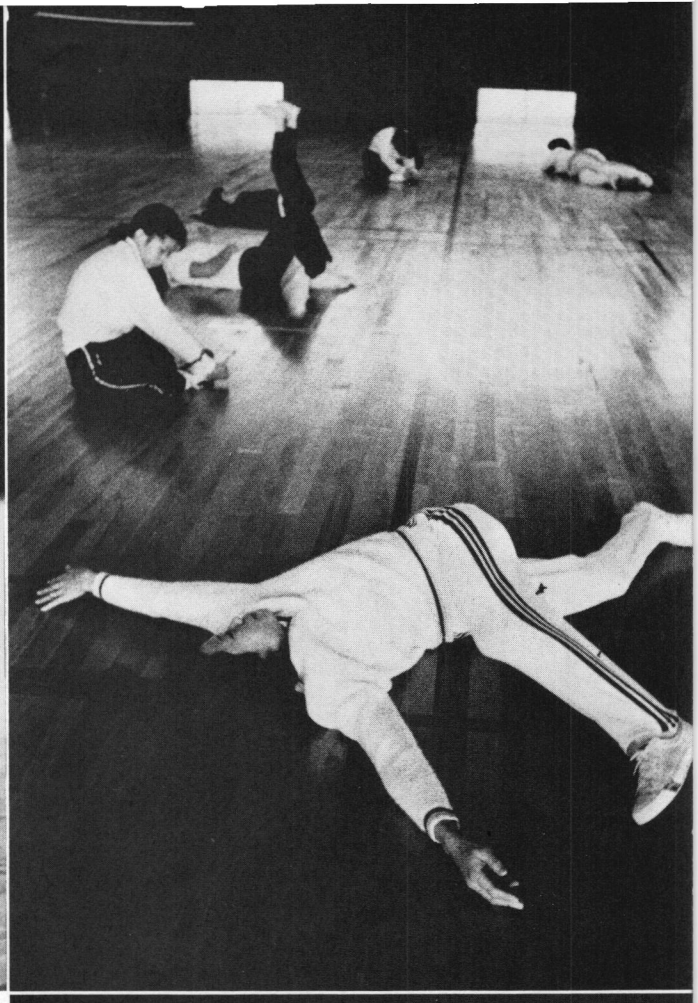
左から千葉，竹中，石田，相沢



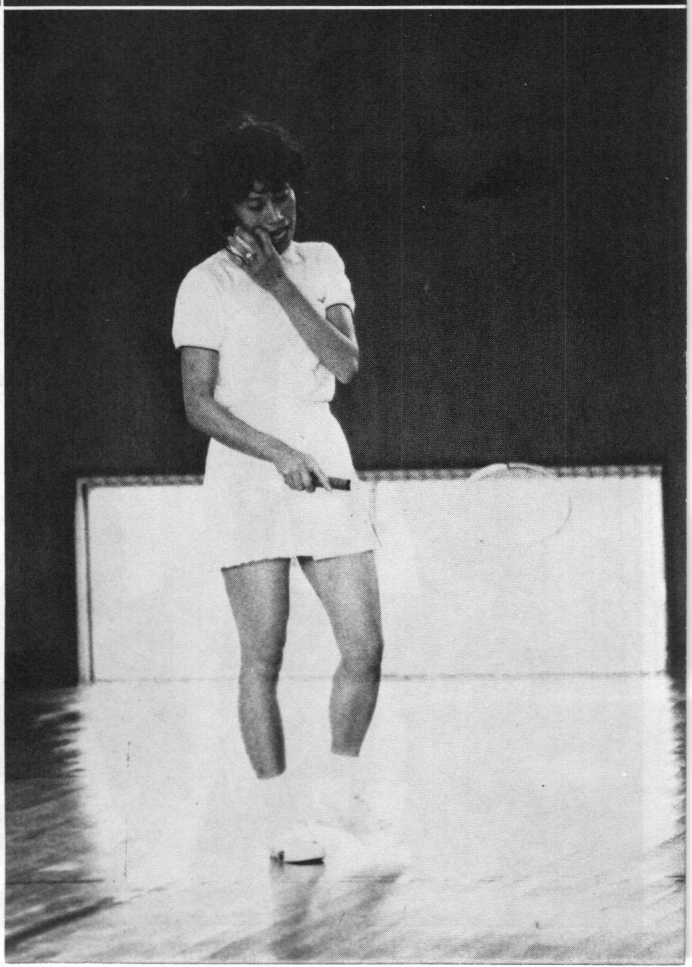
お互いに意見を交換し、向上を



③ 始動開始



①まだまだ体はやわらかい　②〝案外いけそうだわ〟



③	①
	②

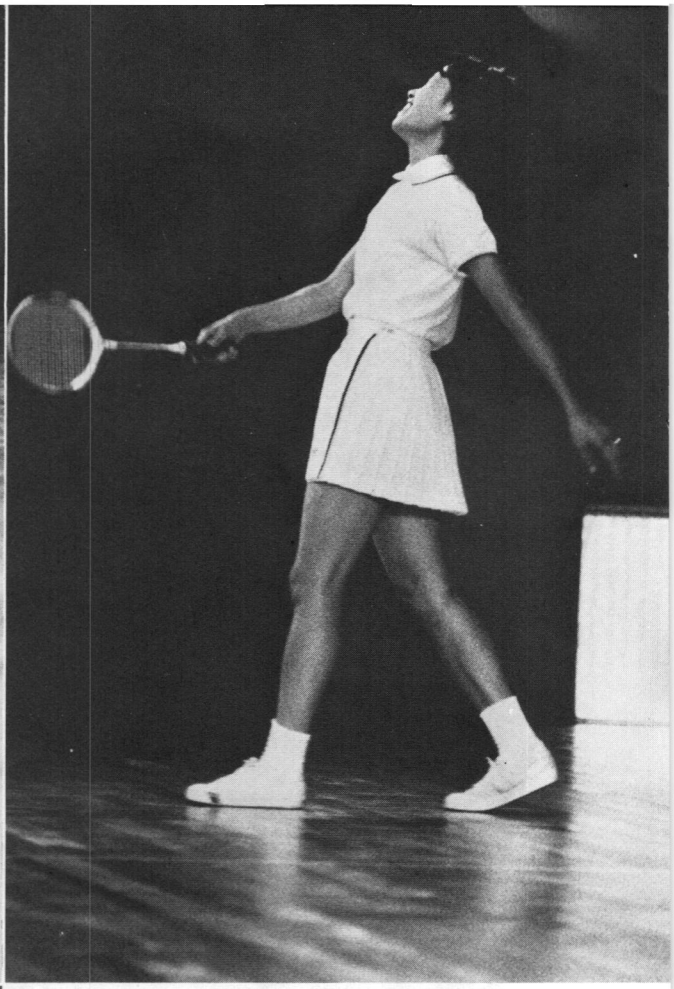
中山コーチ、カムバックするか!!

あるスポーツ新聞は11月16日〝**女王中山現役へカムバック**〟と題して次のような記事をトップ扱いで掲載した。

◇　◇　◇

……中山の復帰は、今シーズンの現役選手の不振ぶりなどから、協会強化スタッフが、強力な説得工作を展開したもので、今春、中山が全日本コーチに就任して以来、さらに復帰を要請する声が高まっていた。同コーチも非公式ながらこれに応じる構えで、現在、神奈川県戸塚の自宅近くの日立戸塚体育館で、同社バドミントン部員とともに練習を行っている。十二月の全日本総合選手権には、時期尚早として出場申込みをしない方針だが、順調にブランクを回復できれば、





④“また出ちゃったわー”

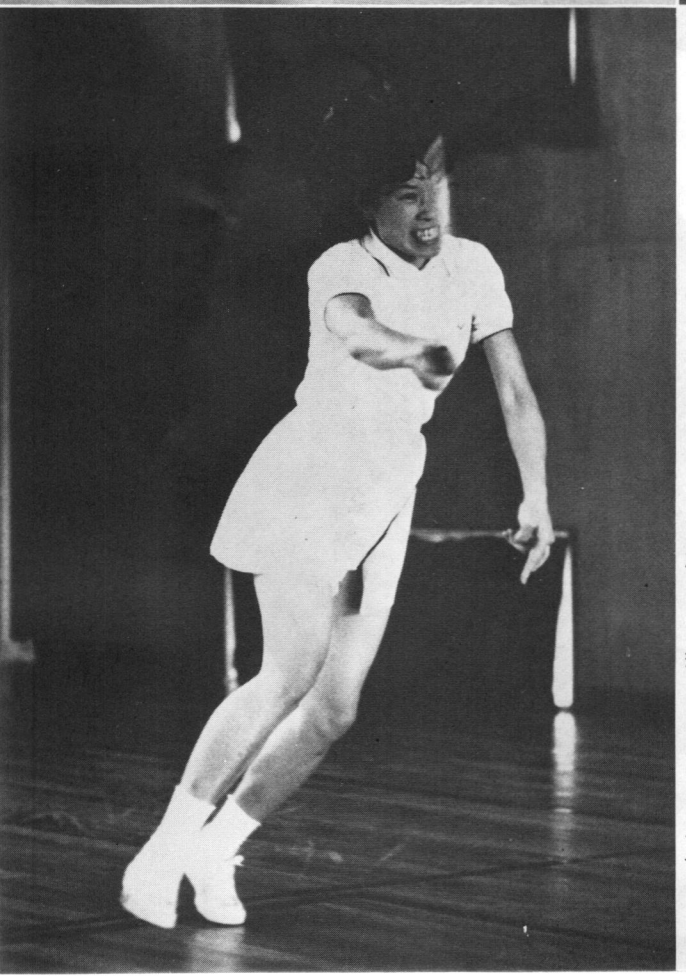
ユーバー杯には、プレーイングコーチとして参加する予定だ。

◇　◇　◇

はたして、この報道のとおり中山コーチの現役復帰が実現するかどうか……。公式な発表も間もなくあると思うが、可能性としては五分五分という状態であろう。

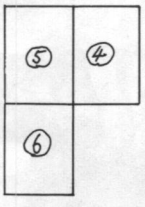
合宿でも、けんめいの調整をしていたが、まだまだ体力的に回復しきっていないもようで、コート内で座り込むような場面も見受けられた。

現役に復帰するかどうかはともかくとしても、実際にラケットを手にとって、コートにはいり、選手と打ち合うということによって、選手たちはその姿、その気迫といったものから、何か大切なものをつかみとってくれるような気がする。



⑤〝バドミントンてこんなにきつかったかしら〟

⑥しかし、まだまだ〝女王〟の力は衰えていないようです





秋本(姉)



井上

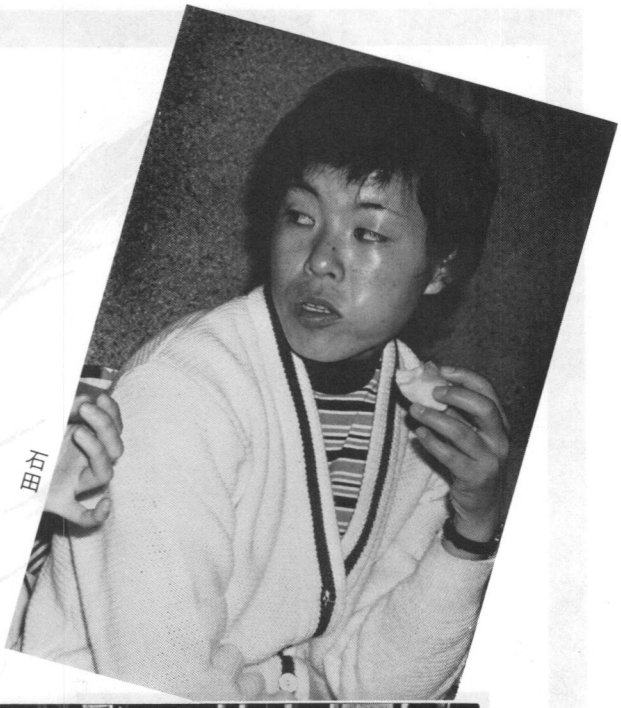
はばたけ!! 若人



徳田



千葉



石田



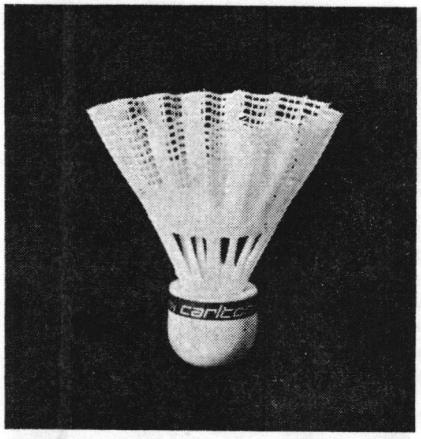
日本を支える秘密はこの〝食欲〟でした

●きびしい合宿も楽しい夕食で幕となりました

カアルトン ニュートーナメント は水鳥？

ナイロンを感じさせないナイロン。

新開発された、カアルトン〝ニュートーナメント〟シャトルは、ナイロンと云うよりも英国製高級水鳥シャトルに最も類似した性能を備えた、新しいシャトルです。



ニュートーナメントの特徴

●打球音が変った●ラケットから離れる感じが変った●ネットでのターンノーバ（回転）が変った●スピン●シャトルに対する視覚度（よく見える）がよくなった●飛翔のときの一貫した安定性が増加された。

メトロレジャー株式会社

東京都千代田区外神田5-6-4 TEL. 833-3661（代）

関東大学秋季リーグ戦
法政と日体大が優勝

昭和四十九年度秋季リーグ戦の一部、二部の試合は十月一、二、七、八、十一、十五、十七、十八、二十二日、板橋、駒沢、江戸川、中央区体育館で男女の熱戦がくり広げられたが、結果は次のとおりであった。

▼男子一部

一位＝法政大学（五勝）、二位＝中央大学（四勝一敗）、三位＝日本大学（三勝二敗）、四位＝日本体育大学（二勝三敗）、五位＝早稲田大学（一勝四敗）、六位＝青山学院大学（五敗）

▼女子一部

一位＝日本体育大学（五勝）、二位＝日本女子体育大学（四勝一敗）、三位＝東京女子体育大学（三勝二敗）、四位＝青山学院大学（二勝三敗）、五位＝早稲田大学（一勝四敗）、六位＝昭和女子大学（五敗）

▼男子二部

一位＝慶応義塾大学（四勝一敗・ポイント数27）、二位＝関東学院大学（四勝一敗・ポイント数21）、三位＝千葉大学（三勝二敗）、四位＝立教大学（二勝三敗）、五位＝大東文化大学（一勝四敗・ポイント数12）、六位＝明治大学（一勝四敗・ポイント数10）

▼女子二部

一位＝大妻女子大学（四勝一敗・ポイント数18）、二位＝共立女子大学（四勝一敗・ポイント数16）、三位＝国学院大学（三勝二敗）、四位＝明治学院大学（二勝三敗・ポイント数12）、五位＝千葉大学（二勝三敗・ポイント数11）、六位＝群馬大学（五敗）

慶応義塾大学が
念願の一部復帰に成功

また、上部リーグ最下位校と下部リーグ一位校との間で行なわれた入替戦の結果は次のとおりでした。

▼男子入替戦

青山学院大（一部）3－4慶応義塾大（二部）、明治大（二部）3－4専修大（三部）、山梨大（三部）5－4東京理科大（四部）、成蹊大（四部）5－4東洋大（五部）、東京学芸大（五部）1－5横浜国立大（六部）、高崎経済大（六部）棄権茨城大（七部）、学習院大（七部）2－5成城大学（八部）、武蔵野美術大（八部）5－4東京電機大Ⅱ部（九部）

この結果、慶応義塾大、専修大、横浜国立大、茨城大、成城大学の各校が、それぞれ上部へ昇格した。

▼女子入替戦

昭和女子大（一部）1－3大妻女子大（二部）、群馬大（二部）3－0慶応義塾大（三部）、国士館大（三部）1－3学習院大（四部）、玉川大（四部）3－1東京経済大（五部）、立教大（五部）0－3独協大（六部）、成城大（六部）0－3武蔵野美術大（七部）、茨城大（七部）棄権明星大（八部）、東京女子大（八部）0－3駒沢大（九部）、山梨大（九部）棄権大東文化大（十部）

この結果、大妻女子大、学習院大、独協大、武蔵野美大、明星大、駒沢大、大東文化大が上部へ昇格した。

水鳥 検定合格球
ファストゴールド
ファストシルバー
全国大会使用球
ファスト印シャトル
コック 製造発売元
有限会社 ジャワ商会
山形市六日町7の28
電話0236(33)0333(代表)

昭和49年度日本バドミントン協会検定審査用具一覧表

銘柄名		価格	会社名
検定合格			
シャトル　水鳥の部			
エリート・デラックス	1打	¥ 3,500	河崎ラケット工業㈱
エリート・トップ	〃	¥ 2,900	〃
エリート・エース	〃	¥ 2,700	〃
ハイレッド	〃	¥ 2,400	株式会社　三和
No.195ゴールド・デラックス	〃	¥ 3,400	株式会社　ゴーセン
No.200ゴールド	〃	¥ 2,900	〃
No.210シルバー	〃	¥ 2,600	〃
ファスト・ゴールド	〃	¥ 2,800	有限会社　ジャワ商会
ファスト・シルバーE7	〃	¥ 2,600	〃
ファスト・グリン	〃	¥ 2,400	〃
トーナメント・デラックス	〃	¥ 3,500	ヨネックス・スポーツ㈱
トーナメント	〃	¥ 2,900	〃
トーナメント・ホワイト	〃	¥ 3,000	㈱トヨダスポーツ
トーナメント・ブルー	〃	¥ 2,700	〃
トーナメント・ブラック	〃	¥ 2,500	〃
ハタチ・ビクトリー	〃	¥ 3,000	羽立工業株式会社
サンバタ・スター	〃	¥ 3,500	株式会社　諸江製作所
サンバタ・キング	〃	¥ 2,900	〃
サンバタ・クィーン	〃	¥ 2,700	〃
シャトル　陸鳥の部			
検定球	1打	¥ 1,600	ヨネックス・スポーツ㈱
サンバタ	〃	¥ 1,600	株式会社　諸江製作所
サンバタB	〃	¥ 1,600	〃
ネットの部			
倉敷ビニロンマツモトネット		¥ 3,400	松本製網株式会社
No.48TR		¥ 4,500	ミセキネット製作所
No.50VA		¥ 4,300	〃
No.52A		¥ 3,700	〃
T－518		¥ 4,200	株式会社　寺西喜商店
カネヤビニロンA		¥ 4,700	鐘屋産業株式会社
カネヤナイロンB		¥ 4,100	〃
#70－2112		¥ 4,500	㈱ジィティヤング
#70－3015		¥ 3,900	〃
#70－3115		¥ 4,300	〃
ポストの部			
T座式バドミントン支柱		¥17,000	ヨネックス・スポーツ㈱
B50		¥13,500	セノー株式会社
B51		¥21,000	〃

銘柄名	価格	会社名
No.10スリーエース	¥ 1,800	ヨネックス・スポーツ㈱
No.8スリーエイト	¥ 1,500	〃
No.7ラッキーセブン	¥ 1,200	〃
S－74オールアタック	¥ 5,000	株式会社　諸江製作所
S－73オールマイティ	¥ 3,800	〃
No.3500キングメイト	¥ 4,000	〃
No.3000ゴールド・キング	¥ 3,500	〃
No.2500キング・アロー	¥ 2,800	〃
No.2000キング・クリッパー	¥ 2,300	〃
No.1000シルバーデラックス	¥ 1,900	〃
No.900スナップ	¥ 1,800	〃
No.800ダンディ	¥ 1,500	〃
ハタチフットワーク	¥ 4,000	羽立工業株式会社
ハタチカスタム	¥ 3,500	〃
ハタチフランチャー	¥ 3,000	〃
ハタチジオニー	¥ 2,000	〃
オールスチールグラード	¥ 3,500	〃
No.2000ニューブラック	¥ 2,000	㈱トヨダスポーツ
No.1000ニューミニ	¥ 1,800	〃
No.8ウインナー	¥ 1,300	〃
No.7シルバー	¥ 1,000	〃
ウエアの部		
S－14TTT半袖シャツ	¥ 2,800	河崎ラケット工業㈱
No.508リース半袖シャツ	¥ 2,200	〃
No.505リース・ノースリーブシャツ	¥ 2,100	〃
No.502リース・長袖シャツ	¥ 2,300	〃
No.500リース・半袖シャツ	¥ 2,100	〃
No.517リース・長袖ハイネックシャツ	¥ 2,300	〃
No.516リース・半袖ハイネックシャツ	¥ 2,100	〃
No.512リース・長袖シャツ	¥ 1,700	〃
No.510リース・半袖シャツ	¥ 1,500	〃
K－11TTT巻スコート	¥ 3,800	〃
No.595リース・プリーツ・スコート	¥ 2,000	〃
No.594リース巻スコート	¥ 3,000	〃
No.590リースフレアースコート	¥ 2,500	〃
No.596リースアンダースコート	¥ 700	〃
No.535リースショートパンツ	¥ 2,100	〃
No.532リースストレッチショートパンツ	¥ 3,400	〃
デフィ・ライン入半袖シャツ	¥ 3,000	〃
デフィスコート	¥ 3,300	〃
デフィライン入巻スコート	¥ 3,600	〃
デフィショートパンツ	¥ 3,600	〃
No.373ルバードウェア半袖シャツ	¥ 1,900	株式会社　ゴーセン

バドミントン支柱　ホール式	¥ 6,800	㈱ 小 川 長 春 館
バドミントン支柱　T座式	¥17,000	〃
バドミントンポスト	¥ 6,500	㈱ 都 村 製 作 所
バドミンポスト　T字式	¥ 6,500	〃

ラインテープの部

No.415コートテープ	¥ 2,300	ヨネックス・スポーツ㈱
シムレス・ラインテープ（特殊紙）	¥ 2,000	タ チ カ ラ 株 式 会 社
セノーラインテープ	¥ 2,160	セ ノ ー 株 式 会 社
カワサキラインテープ	¥ 2,200	河 崎 ラ ケ ッ ト 工 業 ㈱
赤Mラインテープ	¥ 1,800	昭 和 ゴ ム 株 式 会 社
サンバタバドミントンコートテープ　緑	¥ 2,100	株式会社　諸 江 製 作 所
〃　白	¥ 2,100	〃
〃　黄	¥ 2,100	〃

審 査 合 格

合成シャトルの部

カワサキリーブ　1打	¥ 2,700	河 崎 ラ ケ ッ ト 工 業 ㈱
メイビス　1打	¥ 200	ヨネックス・スポーツ㈱
ハタチハネエース　1個	¥ 2,700	羽 立 工 業 株 式 会 社
ナッシュ　1個	¥ 160	株式会社　諸 江 製 作 所

ラケットの部

B－65ゴーセンルバード	¥ 4,500	株式会社　ゴ ー セ ン
B－60スワニー	¥ 4,500	〃
B－55エクセレント	¥ 4,200	〃
B－40ファイアレス	¥ 3,000	〃
No.B－73Fオールマン	¥ 4,500	河 崎 ラ ケ ッ ト 工 業 ㈱
B－69Fブルーリース	¥ 4,000	〃
No.1200Fスタミナ・デラックス	¥ 3,500	〃
No.1000Fスタミナ	¥ 3,000	〃
No.201Fウイニング・コース	¥ 2,000	〃
No.204ファインストローク（張り上り）	¥ 1,800	〃
No.206エバーウイン　（　〃　）	¥ 1,600	〃
No.210ハード・ショット　（　〃　）	¥ 1,300	〃
No.9100スリム・ステンレス	¥ 5,300	ヨネックス・スポーツ㈱
No.9000ハイ・ステンレス	¥ 4,800	〃
No.8100ブラッキー	¥ 5,500	〃
No.8000アルミナ・ハイパワー	¥ 5,000	〃
No.7000アルミナ・エース	¥ 5,000	〃
No.6500トップエース	¥ 4,300	〃
No.6000ファイブ・エース・デラックス	¥ 4,500	〃
No.3000カレッジエイト	¥ 3,000	〃
No.2000キングダイヤ	¥ 2,300	〃
No.1000クインハート	¥ 2,000	〃

No.372ルバードウェア半袖シャツ	¥ 1,900	〃
ルバードウェアショートパンツ	¥ 1,900	〃
	¥ 2,050	〃
No.243女子ノースリーブシャツ	¥ 1,900	ヨネックス・スポーツ㈱
No.140クールネックシャツ	¥ 1,800	〃
No.141男子シャツ	¥ 2,000	〃
No.142　〃　（ライン入）	¥ 2,200	〃
No.241女子シャツ	¥ 2,000	〃
No.242　〃　（ライン入）	¥ 2,200	〃
No.120ショートパンツ	¥ 2,800	〃
No.121ショートパンツ	¥ 2,400	〃
No.122ショートパンツ	¥ 2,100	〃
No.920女子ショートパンツ	¥ 2,500	〃
No.200女子巻スカート	¥ 2,600	〃
No.201女子フレアースカート	¥ 1,900	〃
No.203女子プリーツスカート	¥ 1,800	〃
No.214女子ワンピース	¥ 5,500	〃
No.940女子ワンピース	¥ 6,500	〃
No.950女子プルオーバー	¥ 6,000	〃

シューズの部

バドミントンシューズ	¥ 2,000	河 崎 ラ ケ ッ ト 工 業 ㈱
バドミントンシューズ	¥ 2,000	ヨネックス・スポーツ㈱

ストリングスの部

LEOINA-SHEEP	¥ 450	東　亜　合　繊　㈱
HORN-SHEEP DX	¥ 400	〃
HORN-SHEEP	¥ 350	〃
SP-SHEEP	¥ 300	〃
SANY-SHEEP SSW	¥ 300	〃
TOA-GUT	¥ 200	〃
No.600ヨネックスシープA	¥ 300	ヨネックス・スポーツ㈱
No.610ヨネックスシープB	¥ 400	〃
No.20サンバタバドミントンガットサンシープ	¥ 250	株式会社　諸 江 製 作 所
No.K226サンバタバドミントンガット	¥ 150	〃
No.100サンバタバドミントンガット	¥ 350	〃
No.10サンバタレインボーシープ	¥ 300	〃
No.279ロンシープ	¥ 300	河 崎 ラ ケ ッ ト 工 業 ㈱
No.276コンカー	¥ 400	〃
No.270ニューナイロン	¥ 150	〃
No.1000ハイシープ	¥ 300	株式会社　ゴ ー セ ン
No.1100ハイシープデラックス（赤スパイラル）	¥ 350	〃
No.2000ハイオーシープ（青スパイラル）	¥ 450	〃
No.2000ハイオーシープ（アンバー）	¥ 450	〃
No.1500ハイシープダイヤ	¥ 400	〃
No.1100ハイシープデラックス（緑スパイラル）	¥ 350	〃

●連載

私の歩んできた道

ユ杯防衛戦へ

全英選手権で宿願のタイトルを手にして帰国すると、すぐにユーバー杯の二回目の防衛戦が控えていました。

この年のインドネシアはミナルニが参加していなかったため前回に比べると力は落ちていました。

そして湯木さんも着実に実力をつけていましたら、順当に実力を出し切れば勝てるだろうとは思っていました。

しかし、当時のマスコミの方たちのとらえかたは〝勝つのが当り前〟といったような感じだったため、たしかに私達選手にとっては、ある意味での重荷になっていました。

第一シングル敗る

試合はいよいよ一九七二年六月十一日午後二時から、前回と同じ東京体育館で始まりました。このときも一万人をこえる人々が観戦にきてくれました。

オーダは、高坂さんが第一シングルス、続いて湯木さん、私。ダブルスは相沢さん竹中さんが第一と第三、湯木さんと私が第二第四ということになりました。

第一シングルスの高坂さんは前日まですばらしい健闘をしており、この日も張り切ってコートにでていきました。

しかし、やはり決勝ということで固くなっていたのでしょう。いつものカットがなかなか決まらず、インタンに拾われ、苦しい戦いを強いられ、なんとかファイナルゲームに持ち込んだものの、惜しくも敗れてしまい、インドネシアのリードとなりました。

防衛まであと一本

続いて出場した湯木さんは、圧倒的な強さで、タティをよせつけず、11－4、11－3のスコアで完勝、スコアをタイとしました。

そして私の相手はウタミ。この選手はルディ・ハルトノの妹さんで前回のときも来日していました。私は丁寧に配球を考え、できるだけポイントを与えまいとしてプレーをしました。その結果11－2、11－0で勝ちようやく2－1とリードしたのです。

ダブルスにはいる、相沢さん竹中さんが相手のインタン・レジナ組のねばりに苦しみながらもファイナル・ゲームの末ポイントをあげ、防衛まであと一勝となりました。

ダブルスで決着

湯木さんと私の対戦相手はレトノ・ポピー組。この二人はともに前回も来日した選手で、とくにレトノ選手は、ミナルニと組んで全英選手権でダブルスのタイトルをとったことのある名選手です。

結果は15－9、15－11のストレート勝ちし、ここで防衛が決まりました。

この後のダブルス二本も勝ち、最終スコアは6－1で、数字を見ただけでは楽勝のような印象を受けますが、内容は決してそんなものではなく、一歩間違えば全く逆の結果になっていたと思います。

第6回ユーバー杯大会決勝スコア

日本		6－1		インドネシア
高坂　薫	1	9－11 11－7 3－11	2	インタン
湯木　博江	2	11－4 11－3	0	タティ・スミラ
中山　紀子	2	11－2 11－0	0	ウタミ・デウィ
相沢マチ子 竹中　悦子	2	15－5 11－15 15－7	1	インタン レジナ
中山　紀子 湯木　博江	2	15－9 15－11	0	レトノ ポピー
中山　紀子 湯木　博江	2	15－8 15－8	0	インタン レジナ
相沢マチ子 竹中　悦子	2	15－8 15－9	0	レトノ ポピー

〈第七回〉

痛みを隠して二回目のユ杯防衛

●中山紀子

けんしょう炎に襲われた

今だからいえることですが、この大事なユーバー杯を控えて私は手首をこわしてしまっていたのです。おそらく打ち過ぎが原因だと思いますが、右手首のけんしょう炎を起こしてしまったのです。そのためにあと試合まで一週間という時に、ラケットを振れなくなっていました。

五月の末から、病院にかよっていたのですが、このことがよその国の人にわかっては困りますし、マスコミの方たちにわかって新聞に載ってしまっても困りますので、本当に人目を避けて病院へ行っていました。

ですから、大会二、三日前は全くラケットを持ちませんでした。このことは知っていたのは監督、スタッフの方たちだけで、選手も私がこんなにひどい状態だとは思っていなかったようです。

ところが大会前日、会場のライトの具合などを確認するため各チームのキャプテンが下見をしなければならないということになり、私も会場へ行きました。もちろん、ラケットももたず、ユニフォームもたずにです。

そこで各国の選手がシャトルを打ってみたりしたのですが、ニュージランドの監督とキャプテンが、さかんに私に向かって「ナカヤマさん、ちょっと打ってください」というんです。私は「こんなかっこうですし、ラケットももってきませんでしたから」と遠慮したんですが、彼らは「ラケットだったら貸してあげるから、ちょっと打ってください」とさかんに繰り返すので困ってしまいました。

まわりの人々も、私がそんな状態だとは知りませんから、一緒になってすすめるんです。その時の手首は、いちばん悪い時で、もし一回でも打てば完全にダメになってしまうという状態でしたから、何としても断わらなければならなかったのです。

そこでただ一人事情を知っている堺コーチが、「それじゃ私が代わりに」などといってその場を何とか切り抜けることができ、ホッとしました。

バックハンドは使えない

試合が始まると、やはり痛くて思い切って打てないのです。そこで、バックハンドは絶対に使わないようにし、必ずフォアで回り込んで打つというつもりで、けんめいに走りました。

もし、ここで手首が完全にダメになってもいいというつもりでやりました。フォアだけならまだなんとかやれたのが不幸中の幸いというべきでしょう。

ですからこのときの印象は、このけんしょう炎の痛さと、隠しとおしたということが強く残っています。

試合中、何度か〝なぜ、こんな大切な時に手首を痛めてしまったのか〟と思うこともありましたが、無事に防衛し、責任をはたすことができ、非常に嬉しいことでした。

ニッケンテニス倶楽部
平均年令27才のヤングパワー。
(045)651-2020
●横浜市中区石川町2-84

知事夫人，市長夫人の暖いご協力で大成功

●第３回全北海道ママさんバドミントン大会

旧聞に属することで、はなはだ恐縮ですが、去る八月十日と十一日の両日、第三回全道ママさんバドミントン大会が北海道バドミントン協会、北海道新聞社の主催、北海道教育委員会、北海道体育協会の後援によって行なわれました。

本大会は団体戦および個人戦（ダブルスのみ）が、約一五〇名の参加をえて盛大に進められ、団体戦の結果は次のとおりでした。

▼準々決勝

札幌Ａ２－０函館Ｃ
函館Ｂ２－０旭川
函館Ａ２－０栗山
札幌Ｂ２－０帯広

▼準決勝

札幌Ａ２－０函館Ｂ
函館Ａ２－１札幌Ｂ

▼決勝

札幌Ａ２－１函館Ａ

●札幌Ａチームメンバー＝下山、有馬、山口、関、片桐、谷口

●函館Ａチームメンバー＝間瀬、三船、亀谷、小沢、加藤、松本

●なお、本大会は、北海道知事夫人と今大会出場最高齢者の武田久子さん、札幌市場夫人と選手代表の吉田惇子さんのダブルスの間で〝始球式〟が行なわれ、大会の幕を切っておとした。



堂垣内北海道知事夫人のあいさつ



知事夫人(左)と武田久子さんによる〝始球式〟

各地のたより

空挺団出身の総監が大活躍
――北海道

第一回北海道自衛隊バドミントン大会は、11月6日真駒内駐とん地で開催されましたが、この大会に、北部方面鎮台の倉重翼総監が選手として参加しました。

出場種目は、男子個人戦四十歳以上ダブルスで、パートナーは総監部の森山募集課長。

総監は今年五十五歳で、毎日昼休みには、健康保持のためにラケットをもっているということで、そのために若い隊員の挑戦を退け、三回戦まで進出しました。

この大会も、隊員の親睦を深めようということで、総監の発案で開かれたものです。

惜しくも三回戦で敗れはしましたが、その大活躍ぶりに、会場からは大きな拍手が送られました。

新人戦・教職員大会同時に開催
――北海道

第三回全道高校新人戦バドミントン大会と第五回全道教職員バドミントン選手権大会は、11月23・24日の両日、苫小牧市総合体育館で同時に開かれ、熱戦が次々とくりひろげられました。

各種目の優勝者は次のとおりでした。

〔高校男子シングルス〕
篠尾（帯広三条高校）

〔同ダブルス〕
菅野・中川（帯広柏葉高校）

〔高校女子シングルス〕
結城（釧路商業高校）

〔同ダブルス〕
結城・三本（釧路商業高校）

〔教職員男子シングルス〕
北村（道女子短大教員）

〔同ダブルス〕
菅原（苫高専）北村（道女）

寒さを吹きとばす熱戦
――石巻市

第十四回石巻市民バドミントン大会は、11月17日石巻工業高校体育館において、石巻公民館の主催で開催されました。

出場チームは三十三チームにおよび、選手は二百五十名を越える大きな大会となりました。

今年からは昨年までのABCの三ブロックにDブロック（婦人を主体とするもの）を加えて、四ブロックとなりました。

Cブロック〝ふきのとう〟チームの山田敬三さんの選手宣誓で幕をあけた熱戦の結果は次のとおりでした。

〔Aブロック〕
一位＝佐沼B、二位＝佐沼B、三位＝十条バドミントン班

〔Bブロック〕
一位＝鉄興社A、二位＝十条コーターズ、三位＝十条汽力A

〔Cブロック〕
一位＝矢本B、二位＝十条TD、三位＝マンボウ

〔Dブロック〕
一位＝婦人バドミントン愛好会B、二位＝ふきのとうB、三位＝婦人バドミントン愛好会A

前橋勢が大活躍のママさん大会
――群馬

第一回群馬県家庭婦人バドミントン大会は、県バドミントン協会と上毛新聞の主催で、11月24日前橋市の県スポーツセンターで39チーム78人の参加を得て盛大に行なわれました。

結果は次のとおりでした。

Aリーグ（35歳以上経験者）
五十嵐・下田（前橋）

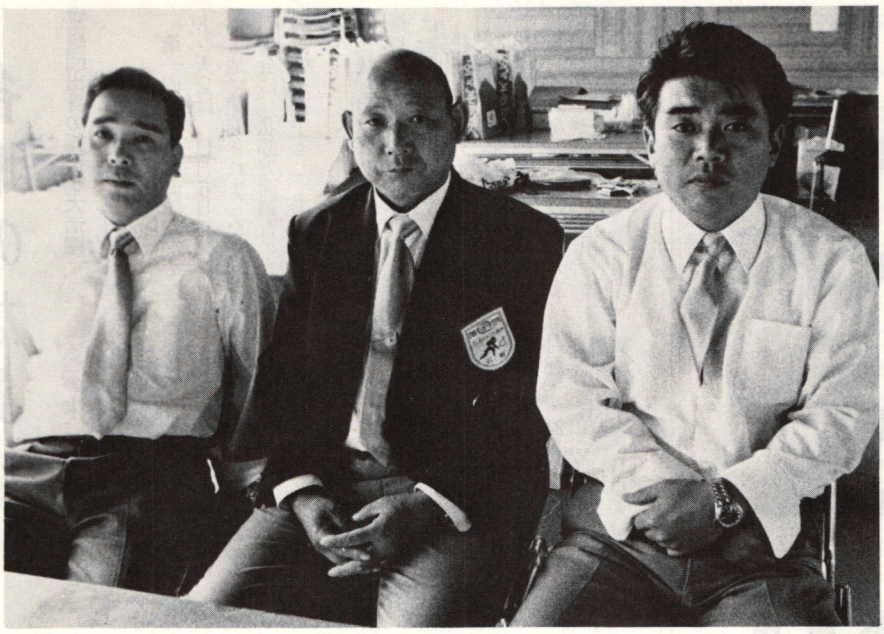
Bリーグ（35歳未満経験者）
今井・渡辺（前橋）

Cリーグ（35歳以上未経験者）
田中・山本（前橋）

Dリーグ（35歳未満未経験者）
荒川・五十嵐

ヤマヤスポーツ㈱
平均年令27才のヤングパワー。
(045)651-2020
●横浜市中区石川町2-84

去る10月に茨城県石岡市で行なわれた第29回国民体育大会バドミントン競技会は熱戦のかずかず、歴史に残る名試合を生んで、無事に幕を閉じましたが、この大会運営にあたって、ひとかたならぬご尽力をくださった実行委員会の皆様に、この欄をお借りしてお礼申し上げます。



左から実行委員会事務局の小口次長、岩田局長、金山係長

編集室から

愛読者の輪を広げる運動にさいしては、実に二百名を超える方々をご紹介いただき、ありがとうございました。

そこで、大変に遅くなりましたが、ご紹介くださった方々のうち、新規定期購読の手続きをおとりになった方の数だけ、記念品をお送りいたしますので、ご愛用ください。

すでに記念品――ヨネックススポーツ特製スポーツタオル＝ヨネックススポーツ提供、アメリカ製リストバンドセット＝ラケットショップ元町提供のうちご希望のものをご紹介しておりますが、左記の方からはまだご返事がありません。

おそれいりますが、ご希望の記念品を編集部までご連絡くださるようお願いいたします。

〈記念品をお送りした方々〉

横浜市・地主大造（4名紹介）
横浜市・清水政明（1名〃）
川崎市・覚張正規（1名〃）
調布市・小松加代子（2名〃）
佐賀県・野口良治（1名〃）
喜多方市・関口明（1名〃）
横浜市・佐々木京子（2名〃）
勝山市・長谷川博幸（1名〃）
大津市・藤堂真（1名紹介）
札幌市・葛尾忍（1名〃）
富山市・磯野雄二（2名〃）
清水市・小川菊治（1名〃）
根室市・天神正人（2名〃）
目黒区・海野英哉（1名〃）
釜石市・佐々木彦士（2名〃）
横浜市・笠井敏彦（1名〃）
網走市・佐々木功（3名〃）
因島市・高島庄二郎（5名〃）

〈ご返事が届かない方々〉

八戸市・久保田義房
昭島市・谷　正路
秋田市・熊谷武志
下松市・野口八重子

以上の四名の方々は、至急編集あて、ご希望の記念品をご連絡ください。（いずれも敬称は略させていただきました）

□　□

本誌10月号と11月号へ投稿をくださいました次の方々には、本誌編集部より記念品をお送りいたしますので、お受け取りください。

武生市・高木　諭
長野県・長野東高バド部一同
立川市・大森幸衛（敬称略）

□　□

編集部では、読者の皆様からの投稿をお待ちしています。テーマは身近のトピックスから、研究成果、観戦記、試合の体験記など自由です。また、ご自分で撮影した写真をお送りください。バドミントンに関係のあるものならなんでもけっこうです。撮影データもあわせて記入してください。

いずれも、誌上採用のものに記念品をお送りいたします。

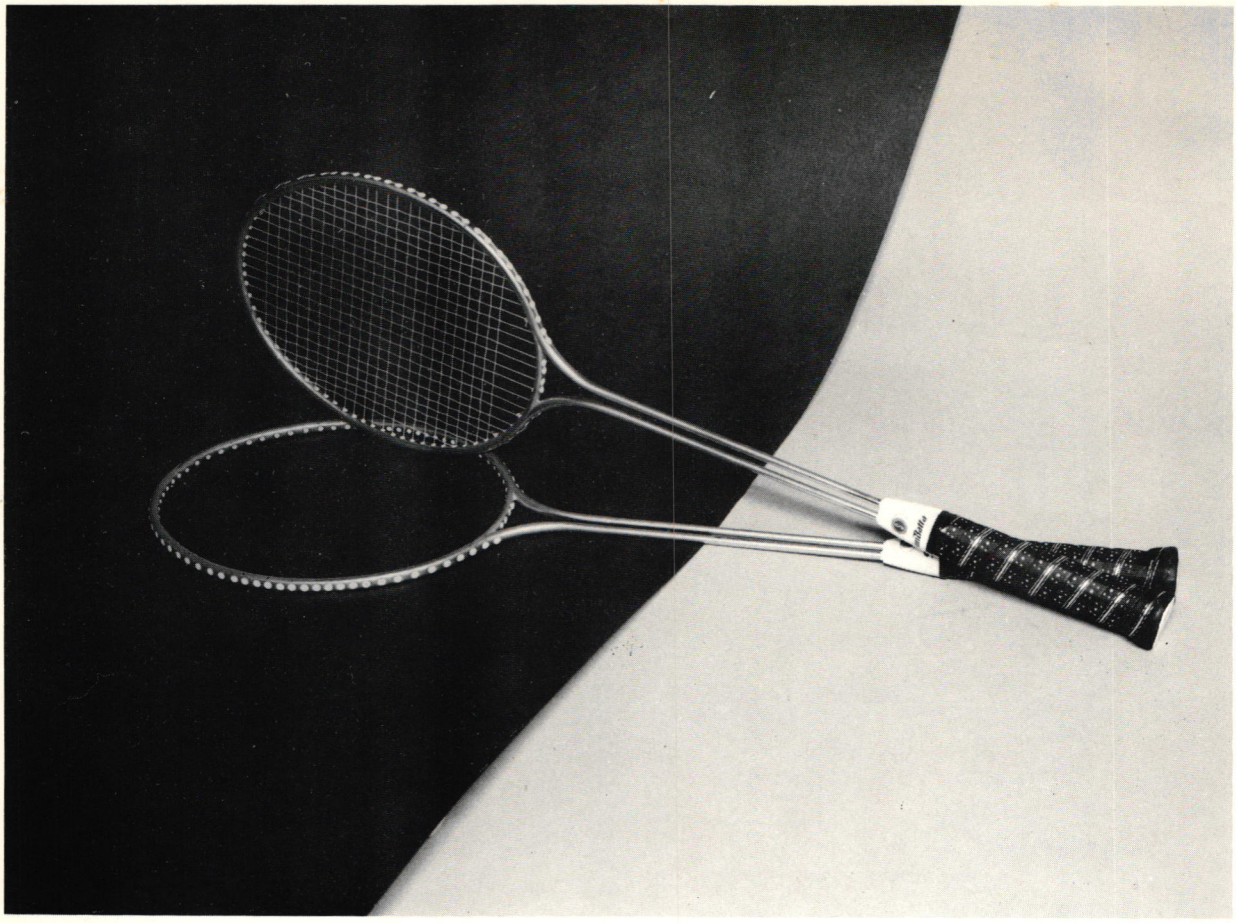
□　□

本誌もいよいよ六年目にはいります。ずいぶん難航したこともあり、また刊行の遅れてしまったこともありましたが、いつも読者の皆様の暖いご支援と、きびしいご叱正に支えられて、切り抜けてまいりました。本当にありがとうございました。

五年を一つの節として、六年目をまた新しい出発としてがんばりますので、なおいっそうのご協力とご指導をくださいますようお願いいたします。

【バドミントン界】第62号
昭和49年11月25日　印刷
昭和49年12月1日　発行
編集兼発行人　妻　浩
発行所　東京都渋谷区神南一の一の一　岸記念体育館内　日本バドミントン協会
電話　四六七・三一一一（内線）三五一　四六七・七〇九五（直通）
郵便番号・一五〇
振替口座・東京三二一一九三
印刷所　東京都豊島区南大塚二一二九　明宏印刷株式会社
定価　一部二百二十円

©無断転載を禁ず



ALL STEEL RACKET SunBatta TWIN SHAFT

究明され！
完成された！
S-74
ALL ROUND

プレーヤーが長い間求めていたオールスチールが誕生しました。
従来のオールスチールラケットの利点及び欠点をあらゆる角度から究明され改良をし今ここに完成され皆様の目の前に現われました。
ツインシャフトの採用によって、フレームとシャフトとのひねりが最小限に押えられ自由自在なショットを楽しむ事が出来るでしょう。
アタックによし、レシーブによし、それがS-74オールラウンドです。
◇フレームのみ（ケース付）￥ 5,000

SunBatta TOKYO TRADE MARK サンバタ

月刊「バドミントン界」第32号　昭和四十九年十二月一日発行（毎月一回一日発行）
発行所　東京都渋谷区神南一ノ一ノ一　岸記念体育会館内　日本バドミントン協会　定価二百二十円

パワーラケット誕生!!

――ハードヒッターにピッタリです!!

オールマン
No.B-73



精選された木材の画期的加工技術を開発。
5プライフレームの合板精度と、ロングで強靱なツルーテンパー・クローム モリブデンシャフトとの比類ない結合から生れた、かってないパワーとバランス。
一瞬の攻撃力にかけるプレイヤー待望の力強いラケットがついに誕生しました。
世界の檜舞台で信頼され、活躍するカワサキの新製品〝オールマン〟をぜひお試しください。

K TOKYO
kawasaki racket
河崎ラケット工業株式会社
東京都台東区台東2-28-5 TEL(831)9161(代表)